

3. 後作物残留に係る調査結果

3-1 調査概要

1) 調査目的

土壌残留に伴う後作物残留評価法の確立に資するため、後作物残留調査に供すべき代表作物及び評価条件を比較検討するため、農薬の後作物への移行率等の品種間差及び土壌中の初期濃度の影響を調査することを目的に調査した。

2) 対象農薬及び供試作物

(1) 試験の内容

各実施機関が調査対象とする農薬及び供試作物は表 3-1 に示すとおりである。①及び②の試験を実施した。

① 品種間差の比較調査

品種間差に係る知見を得るため、同一作物について複数の品種について試験を実施した。供試農薬については 2 農薬以上を選択し処理条件(以下「慣行量」)に従い処理した。

また、供試作物については、これまでの本調査事業において検出されやすい傾向が示されている「こまつな」又は「ほうれんそう」のどちらか一方を対象作物とし、全県で調査を行う統一品種を 1 品種、各県独自で選定する 2 品種以上の合わせて 3 品種以上を試供した。こまつなの統一品種は「よかった菜 (カネコ種苗)」、ほうれんそうの統一品種は「サマーズ (カネコ種苗)」とした。

② 土壌中の初期濃度の影響調査

土壌中の初期濃度の影響に係る知見を得るため、施容量を変えた条件下で試験を実施した。

供試農薬については 2 農薬以上を選択し、慣行量を基とし、土壌中の初期濃度が 1/3 及び 1/5 になるように散布量又は希釈倍数を調整し処理した。粒剤の場合は 10a あたり散布量を 1/3 及び 1/5 とした散布量に該当する量を処理した。水和剤及び水溶剤の場合は希釈倍数を 3 倍及び 5 倍とした条件に該当する量を処理した。

供試作物については、(1)において対象とした作物とし、その統一品種を用いて実施した。

表 3-1 調査実施機関と対象農薬

実施機関	対象農薬	剤型	供試作物
北海道立総合研究機構中央農業試験場	アセタミプリド	粒剤	コマツナ（よかった菜、浜ちゃん、CR 緑郷 EX）
	ジノテフラン	粒剤	
宮城県農業園芸総合研究所	ジノテフラン	顆粒水溶剤	ハウレンソウ(サマーズ、クロノス、スーパーアリーナ)
	プロシミドン	水和剤	
栃木県農業試験場	ホスチアゼート	粒剤	ハウレンソウ(サマーズ、ミラージュ、クラウド)
	フルトラニル	フロアブル	
埼玉県農林総合研究センター	アセタミプリド	水溶剤	ハウレンソウ(サマーズ、トリトン、プリウスアーリー7)
	プロシミドン	水和剤	
長野県農業試験場	プロシミドン	水和剤	ハウレンソウ(サマーズ、スーパーアリーナ 7、プリウスアーリー7)
	アセタミプリド	粒剤	
岐阜県農業技術センター	プロシミドン	水和剤	ハウレンソウ(サマーズ、スーパーアリーナ 7、ハンター)
	メタラキシル	粒剤	
愛知県農業総合試験場	クロチアニジン	水溶剤	コマツナ（よかった菜、菜々子、菜々美）
	ジノテフラン	顆粒水溶剤	
京都府農林水産技術センター	ジノテフラン	粒剤	コマツナ（よかった菜、楽天、菜々美）
	クロチアニジン	粒剤	
大阪府立環境農林水産総合研究所	ジノテフラン	粒剤	コマツナ（よかった菜、ひとみ、楽天）
	メタラキシル	粒剤	
奈良県農業総合センター	プロシミドン	水和剤	ハウレンソウ(サマーズ、アンナ、ミラージュ)
	ミクロブタニル	水和剤	
兵庫県農林水産技術総合センター	ジノテフラン	粒剤	ハウレンソウ(サマーズ、サマースカイ R7、ミラージュ)
	メタラキシル	粒剤	
	トルクロホスメチル	水和剤	
山口県農林総合技術センター	アセタミプリド	水溶剤	ハウレンソウ(サマーズ、ハンター、クローネ)
	クロチアニジン	水溶剤	
徳島県立農林水産総合技術支援センター	クロチアニジン	粒剤	コマツナ（よかった菜、みなみ、いなむら）
	ジノテフラン	粒剤	
香川県農業試験場	アセタミプリド	粒剤	コマツナ（よかった菜、楽天、浜美 2 号）
	トルクロホスメチル	水和剤	
高知県農業技術センター	アセタミプリド	顆粒水和剤	コマツナ（よかった菜、夏楽天、極楽天）
	ジノテフラン	顆粒水和剤	
熊本県農業研究センター	フルトラニル	フロアブル	ハウレンソウ(サマーズ、アトラス、ミストラル、ハンター)
	ミクロブタニル	水和剤	

(2) 試験区

土性（種別）及び農薬使用履歴が明らかな裸地圃場を用いた（前作は栽培しなかった）。また、土壌の理化学性（pH、有機物含有等）及び仮比重を調査した。苦土石灰等、土壌 pH を変化させうるものを施用する場合は、施用後における土壌 pH の変化についても確認した（施設・露地の別は問わない。）。

試験区は無処理区と処理区とし、対象農薬の剤型にかかわらずドリフトのリスクを軽減するため、可能な限り遠ざけた。（土壌中の初期濃度の影響調査においても同様とした）各試験区は継続的な土壌残留調査が可能で供試後作物が十分に収穫できる面積とした。施設の場合は適切なかん水管理を行った。



図 3-1 試験区の設定イメージ

(3) 農薬の処理と後作物の作付け

試験圃場を十分耕起してならした後に供試農薬を所定条件で薬剤処理区に処理し、試験区内に均一に処理するように特に留意した。粒剤の場合は原則として作付予定区域のみに処理し（通路部分ははずす）軽く土壌混和した。

作物は農薬の最終処理 1 日後（前作の適用が収穫前日まで使用できる農薬の場合。定植時又は定植前等に使用する農薬については登録の使用時期においても収穫前日数の短くなる散布時期を設定。）に耕起、施肥などの栽培慣行を確実に実施したのちに作付けを行った。

作付方法は栽培慣行に従うものとするが、施肥により土壌の理化学性に影響を及ぼすこともあるため、施肥した肥料等の単位面積当たり施肥量を明確にし、作付前には十分に耕うんを行った。

耕起深度はトラクター等の歯の径から推計するのではなく、耕起した部分とその外側の農地との断面で実測した。

(4) 土壌残留濃度の調査

① 調査時期

処理区にあつては、薬剤処理前、薬剤処理後、作付け時及び収穫の調査を行った。無処理区は作付け時に調査を行った。

② 調査方法

採土管を用いて（移植ごと、スコップ等は使用しない）、地表露出部分から地表10cmまでの土壌を、毎回8カ所以上（試験区の大きさに合わせて数を増やすことが望ましい）から採取し、ビニル袋等を用いて十分混合し試料とした。前回採取に用いた地点からは採取しないようにした。作付時にあつては可能な場合には地表10～20cmの土壌も採取し、試料とした（地表10cmまでの土壌とは別途分析を行った）。

採取土壌は土塊をつぶして篩いにかけて分析に供する。土壌残留濃度は乾土当たりのmg/kgで表示した。

定量限界については、最低限満たすべき水準は0.01mg/kgとするが、可能な範囲でより小さい値に設定し、検出限界値の有効数字は1桁とした。やむを得ず保存した後に分析する場合は-20℃以下で冷凍し、保存安定性試験を行った。

(5) 作物残留濃度の調査

残留基準に定める可食部を各区から十分量（1kgかつ5個体以上）を採取し、その重量を測定後、対象農薬の分析を行った。試料に土壌が付着しているときは、はけ等を用いて除去するか、又は付着が著しい時はゆるやかな流水下で柔らかいブラシで軽くこすり落とした。

定量限界については、最低限満たすべき水準は0.01ppmとするが、可能な範囲でより小さい値に設定し、検出限界値の有効数字は1桁とした。やむを得ず保存した後に分析する場合は-20℃以下で冷凍し、保存安定性試験を行った。

また、土壌から作物への農薬成分の移行のしやすさについて考察するにあたり、移行率を算出することとした。

移行率は作物中の農薬成分濃度を、作付け時・収穫時の土壌中農薬成分濃度の幾何平均で除したものとした。算出式は次の通り。

ただし、得られた作物および土壌中農薬成分濃度が定量下限未満の場合、定量下限値の1/2を乗じた値を移行率の計算に用いることとした。なお、作物中の濃度が定量下限値未満の場合には、移行率を算出していない。

$$\text{移行率}[\%] = \frac{C_{\text{作物}}[\text{mg/kg}]}{\sqrt{C_{\text{作付け土壌}}[\text{mg/kg}] \times C_{\text{収穫土壌}}[\text{mg/kg}]}} \times 100$$

$C_{\text{作物}}$: 作物中の農薬成分残留量平均値[mg/kg]

$C_{\text{作付け土壌}}$: 作付け時の土壌中（0 – 10cm）の農薬成分残留量平均値[mg/kg]

$C_{\text{収穫土壌}}$: 収穫時の土壌中の農薬成分残留量平均値[mg/kg]

(6) 気象観測

露地栽培の場合はアメダス等の利用により調査期間中の気温（1日平均値）、降水量（1日合計値）を調査した。施設栽培の場合は、施設内の気温及び湿度（いずれも1日平均値）を調査した。

(7) 後作物作付け実態に関する情報調査

供試した各後作物について、都道府県内における代表的な作付体系・方法に関する情報を収集・整理した。

3-2 平成 25 年度調査結果のまとめ

後作物調査の対象農薬の検出状況は表 3-2～表 3-10 に示すとおりである。今年度の分析結果では、収穫時の作物の残留濃度が残留基準値を超過することは確認されていない。

表 3-2(1) 今年度調査結果の概要 (アセタミプリド)

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)			後作物残留濃度 (mg/kg)	残留基準値 (mg/kg)	移行率	
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	品種	最終散布処理後	作付け時 (は種時)	収穫時				
北海道立総合研究機構中央農業試験場	モスピラン粒剤 (2.0%) 慣行量区: 6kg/10a, 1/3 量区: 2kg/10a, 1/5 量区: 1.2kg/10a	コマツナ (慣行量処理区) (薬剤処理 30 日)	よかつた菜	0.04	0.92	0.14	0.06	5	17	
		コマツナ (1/3 量処理区) (薬剤処理 30 日)		<0.01	0.01	0.03			-	
		コマツナ (1/5 量処理区) (薬剤処理 30 日)		<0.01	0.01	0.02			0.01	-
		コマツナ (慣行量処理区) (薬剤処理 30 日)	CR 緑郷 EX	0.04	0.92	0.14			0.04	11
		コマツナ (慣行量処理区) (薬剤処理 30 日)	浜ちゃん	0.04	0.92	0.14			0.06	17
埼玉県農林総合研究センター	モスピラン水溶剤 (20.0%) 慣行量区: 2,000 倍 1/3 量区: 6,000 倍 1/5 量区: 10,000 倍 300L/10a	ハウレンソウ (慣行量処理区) (薬剤処理 37 日)	サマーズ	0.26	上 0.12 下 0.04	<0.01	<0.01	3	-	
		ハウレンソウ (1/3 量処理区) (薬剤処理 37 日)		0.07	上 0.04 下 0.02	<0.01			<0.01	-
		ハウレンソウ (1/5 量処理区) (薬剤処理 37 日)		0.05	上 0.01 下 <0.01	<0.01			<0.01	-
		ハウレンソウ (慣行量処理区) (薬剤処理 42 日)	トリトン	0.26	上 0.12 下 0.04	<0.01			<0.01	-
		ハウレンソウ (慣行量処理区) (薬剤処理 35 日)	プリウスアーリー7	0.26	上 0.12 下 0.04	<0.01			<0.01	-
		ハウレンソウ (慣行量処理区) (薬剤処理 39 日)	サマーズ	0.66	上 0.50 下 0.04	0.01			<0.01	-
ハウレンソウ (1/3 量処理区) (薬剤処理 39 日)	0.16	上 0.04 下 0.03		0.01	<0.01	-				
ハウレンソウ (1/5 量処理区) (薬剤処理 39 日)	0.12	上 0.01 下 0.01		0.01	<0.01	-				
長野県農業試験場	モスピラン粒剤 (2.0%) 慣行量区: 6kg/10a 1/3 量区: 3kg/10a 1/5 量区: 1.2kg/10a	ハウレンソウ (慣行量処理区) (薬剤処理 40 日)	スーパーアーリーナ	0.66	上 0.50 下 0.04	0.01	<0.01	3	-	
		ハウレンソウ (1/3 量処理区) (薬剤処理 40 日)		0.16	上 0.04 下 0.03	0.01			<0.01	-
		ハウレンソウ (1/5 量処理区) (薬剤処理 40 日)		0.12	上 0.01 下 0.01	0.01			<0.01	-
		ハウレンソウ (慣行量処理区) (薬剤処理 40 日)	プリウスアーリー	0.66	上 0.50 下 0.04	0.01			<0.01	-
		ハウレンソウ (1/3 量処理区) (薬剤処理 40 日)		0.16	上 0.04 下 0.03	0.01			<0.01	-
		ハウレンソウ (1/5 量処理区) (薬剤処理 40 日)		0.12	上 0.01 下 0.01	0.01			<0.01	-
		ハウレンソウ (慣行量処理区) (薬剤処理 40 日)		0.66	上 0.50 下 0.04	0.01			<0.01	-
		ハウレンソウ (1/3 量処理区) (薬剤処理 40 日)		0.16	上 0.04 下 0.03	0.01			<0.01	-
ハウレンソウ (1/5 量処理区) (薬剤処理 40 日)	0.12	上 0.01 下 0.01	0.01	<0.01	-					

表 3-2 (2) 今年度調査結果の概要 (アセタミプリド)

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)			後作物残留濃度 (mg/kg)	残留基準値 (mg/kg)	移行率 (%)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	品種	最終散布処理後	作付け時 (は種時)	収穫時			
山口県農林総合技術センター	モスピラン水溶剤 (20.0%) 慣行量: 2,000 倍 300L/10a	ハウレンソウ (慣行量処理区) (薬剤処理 92 日)	サマーズ	0.18	上 0.20 下 0.03	<0.01	<0.01	3	-
		ハウレンソウ (1/3 量処理区) (薬剤処理 92 日)		0.10	上 0.07 下 0.01	<0.01	<0.01		-
		ハウレンソウ (1/5 量処理区) (薬剤処理 92 日)		0.05	上 0.03 下 <0.01	<0.01	<0.01		-
		ハウレンソウ (慣行量処理区) (薬剤処理 92 日)	ハンター	0.18	上 0.20 下 0.03	<0.01	<0.01		-
		ハウレンソウ (慣行量処理区) (薬剤処理 92 日)	クローネ	0.18	上 0.20 下 0.03	<0.01	<0.01		-
香川県農業試験場	モスピラン粒剤 (2.0%) 慣行量: 6kg/10a 1/3 量区: 2kg/10a 1/5 量区: 1.2kg/10a	コマツナ (慣行量処理区) (薬剤処理 23 日)	よかった菜	1.20	上 1.07 下 0.01	0.06	0.16	5	63
		コマツナ (1/3 量処理区) (薬剤処理 23 日)		0.41	上 0.24 下 <0.01	0.02	0.10		144
		コマツナ (1/5 量処理区) (薬剤処理 23 日)		0.22	上 0.15 下 <0.01	<0.01	0.02		73
		コマツナ (慣行量処理区) (薬剤処理 23 日)	楽天	1.20	上 1.07 下 0.01	0.06	0.07		28
		コマツナ (慣行量処理区) (薬剤処理 23 日)	浜美 2 号	1.20	上 1.07 下 0.01	0.06	0.10		39
		コマツナ (慣行量処理区) (薬剤処理 32 日)	よかった菜	0.23	上 0.03 下 0.04	<0.01	<0.01		41
コマツナ (1/3 量処理区) (薬剤処理 32 日)	0.11	上 0.02 下 0.02		<0.01	<0.01	29			
コマツナ (1/5 量処理区) (薬剤処理 32 日)	0.05	上 0.01 下 0.02		<0.01	<0.01	41			
コマツナ (慣行量処理区) (薬剤処理 32 日)	極楽天	0.23		上 0.03 下 0.04	0.01	<0.01	50		
高知県農業技術センター	モスピラン顆粒水溶剤 (20%) 慣行量: 2,000 倍 1/3 量区: 6,000 倍 1/5 量区: 10,000 倍 300L/10a	コマツナ (慣行量処理区) (薬剤処理 32 日)	夏楽天	0.23	上 0.03 下 0.04	<0.01	<0.01	71	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 3-3 今年度調査結果の概要（クロチアニジン）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物残留濃度(mg/kg)	残留基準値(mg/kg)	移行率(%)
	供試農薬(有効成分率・希釈倍率・処理量)	供試作物	品種	最終散布処理後	作付け時(は種時)	収穫時			
愛知県農業総合試験場	ダントツ水和剤(16%) 慣行量区: 2,000倍, 1/3量区: 6,000倍, 1/5量区: 1,000倍, 300L/10a	コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理26日)	よかつた菜	0.58	上 0.73 下 0.18	0.12	0.20	1	68
		コマツナ(1/3量処理区)(薬剤処理26日)		0.15	上 0.21 下 0.05	0.09	0.05		-
		コマツナ(1/5量処理区)(薬剤処理26日)		0.10	上 0.04 下 0.04	0.02	0.03		-
		コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理26日)	菜々子	0.58	上 0.73 下 0.18	0.12	0.19		67
		コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理26日)	菜々美	0.58	上 0.73 下 0.18	0.12	0.20		65
京都府農林水産技術センター	ダントツ粒剤(0.5%) 慣行量区: 6kg/10a, 1/3量区: 2kg/10a, 1/5量区: 1.2kg/10a	コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理27日)	よかつた菜	0.90	上 0.22 下 0.02	0.18	0.08	40	
		コマツナ(1/3量処理区)(薬剤処理27日)		0.68	上 0.22 下 0.02	0.03	0.02	35	
		コマツナ(1/5量処理区)(薬剤処理27日)		0.58	上 0.07 下 0.01	0.03	0.02	32	
		コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理27日)	楽天	0.90	上 0.22 下 0.02	0.13	0.06	45	
		コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理27日)	菜々美	0.90	上 0.22 下 0.02	0.16	0.06	44	
山口県農林総合技術センター	ダントツ水和剤(16%) 慣行量: 2,000倍 300L/10a	ハウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理92日)	サマーズ	0.35	上 0.48 下 0.14	0.32	0.16	41	
		ハウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理92日)		0.20	上 0.18 下 0.05	0.12	0.04	27	
		ハウレンソウ(1/5量処理区)(薬剤処理92日)		0.11	上 0.10 下 0.02	0.08	0.03	34	
		ハウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理92日)	ハンター	0.18	上 0.20 下 0.03	0.38	0.12	28	
		ハウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理92日)	クローネ	0.18	上 0.20 下 0.03	0.36	0.12	29	
徳島県立農林水産総合技術支援センター	ダントツ粒剤(0.5%) 慣行量区: 6kg/10a, 1/3量区: 2kg/10a, 1/5量区: 1.2kg/10a	コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理27日)	よかつた菜	0.20	上 0.18 下 0.18	0.10	0.03	28	
		コマツナ(1/3量処理区)(薬剤処理27日)		0.15	上 0.06 下 0.04	0.02	0.01	63	
		コマツナ(1/5量処理区)(薬剤処理27日)		0.07	上 0.04 下 0.02	0.02	<0.01	63	
		コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理27日)	みなみ	0.20	上 0.18 下 0.18	0.10	0.01	50	
		コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理27日)	いなむら	0.20	上 0.18 下 0.18	0.08	0.01	69	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 3-4 (1) 今年度調査結果の概要 (ジノテフラン)

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	移行率 (%)	
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物	品種	最終散布 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時				
北海道 立総合 研究機 構中央 農業試 験場	スタークル粒剤 (1.0%) 慣行量区: 6kg/10a, 1/3量区: 2kg/10a, 1/5量区: 1.2kg/10a	コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 30 日)	よかった菜	0.48	0.33	0.40	0.38	10	105	
		コマツナ(1/3量処理 区)(薬剤処理 30 日)		0.12	0.20	0.10			64	
		コマツナ(1/5量処理 区)(薬剤処理 30 日)		0.04	0.08	0.12			41	
		コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 30 日)	CR 緑郷 EX	0.48	0.33	0.40			77	
		コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 30 日)	浜ちゃん	0.48	0.33	0.40			77	
宮城県 農業園 芸総合 研究所	アルハリン顆粒 水溶剤 (20%) 慣行量区: 2,000 倍, 300L/10a	ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 41 日)	サマーズ	上 1.52 下 0.10	上 1.52 下 0.26	上 1.52 下 0.26	0.27	15	18	
		ホウレンソウ(1/3量処 理区)(薬剤処理 41 日)		上 0.83 下 0.10	上 0.59 下 0.26	上 0.59 下 0.26			25	
		ホウレンソウ(1/5量処 理区)(薬剤処理 41 日)		上 0.48 下 0.12	上 0.59 下 0.24	上 0.59 下 0.24			23	
		ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 41 日)	クロノス	-	-	上 1.43 下 0.32			0.35	23
		ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 41 日)	スーパー アリーナ	-	-	上 1.83 下 0.47			0.23	14
愛知県 農業総 合試験 場	アルハリン顆粒 水溶剤 (20%) 慣行量区: 2,000 倍, 1/3量区: 6,000 倍, 1/5量区: 10,000 倍, 300L/10a	コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 26 日)	よかった菜	0.48	上 0.53 下 0.15	<0.01	0.06	10	117	
		コマツナ(1/3量処理 区)(薬剤処理 26 日)		0.12	上 0.16 下 0.04	<0.01			0.04	-
		コマツナ(1/5量処理 区)(薬剤処理 26 日)		0.06	上 0.04 下 0.04	<0.01			0.02	-
		コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 26 日)	菜々子	0.48	上 0.53 下 0.15	<0.01			0.06	117
		コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 26 日)	菜々美	0.48	上 0.53 下 0.15	<0.01			0.05	97
京都府 農林水 産技術 センタ ー	アルハリン粒剤 (1.0%) 慣行量区: 6kg/10a, 1/3量区: 2kg/10a, 1/5量区: 1.2kg/10a	コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 27 日)	よかった菜	1.18	上 0.46 下 0.03	0.02	0.22	10	229	
		コマツナ(1/3量処理 区)(薬剤処理 27 日)		0.54	上 0.20 下 0.05	<0.01			0.04	153
		コマツナ(1/5量処理 区)(薬剤処理 27 日)		0.22	上 0.06 下 0.02	<0.01			0.04	162
		コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 27 日)	楽天	1.18	上 0.46 下 0.03	0.03			0.18	126
		コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 27 日)	菜々美	1.18	上 0.46 下 0.03	0.06			0.27	231
地方独 立行政 法人 大阪府 立環境 農林水 産総合 研究所	アルハリン粒剤 (1.0%) 慣行量区: 6kg/10a, 1/3量区: 2kg/10a, 1/5量区: 1.2kg/10a	コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 35 日)	よかった菜	0.878	上 0.294 下 0.054	上 0.038 下 0.054	0.120	10	110	
		コマツナ(1/3量処理 区)(薬剤処理 35 日)		0.489	上 0.186 下 0.056	上<0.005 下 0.008			0.064	300
		コマツナ(1/5量処理 区)(薬剤処理 35 日)		0.324	上 0.130 下 0.052	上 0.008 下 0.008			0.068	210
		コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 35 日)	ひとみ	0.878	上 0.294 下 0.054	上 0.038 下 0.054			0.170	160
		コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 35 日)	楽天	0.878	上 0.294 下 0.054	上 0.038 下 0.054			0.125	120

表 3-4 (2) 今年度調査結果の概要 (ジノテフラン)

調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)			後作物残留濃度 (mg/kg)	残留基準値 (mg/kg)	移行率 (%)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	品種	最終散布処理後	作付け時 (は種時)	収穫時			
兵庫県農林水産技術総合センター	アルハリン粒剤 (1.0%) 慣行量区: 6kg/10a 1/3量区: 2kg/10a 1/5量区: 1.2kg/10a	ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理31日)	サマーズ	0.53	上 0.44 下 <0.01	0.21	0.03	15	10
		ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理31日)		0.18	上 0.12 下 <0.01	0.08	<0.01		-
		ホウレンソウ(1/5量処理区)(薬剤処理31日)		0.12	上 0.06 下 <0.01	0.06	<0.01		-
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理30日)	ミラージュ	0.52	上 0.37 下 <0.01	0.10	0.03		16
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理34日)	サマースカイ R7	0.56	上 0.44 下 <0.01	0.16	0.02		3
徳島県立農林水産総合技術支援センター	スタークル粒剤 (1.0%) 慣行量: 6kg/10a, 1/3量区:, 2kg/10a, 1/5量区: 1.2kg/10a	コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理27日)	よかった菜	1.45	上 0.41 下 0.37	0.05	0.04	10	28
		コマツナ(1/3量処理区)(薬剤処理27日)		0.13	上 0.10 下 0.06	0.01	0.02		63
		コマツナ(1/5量処理区)(薬剤処理27日)		0.10	上 0.05 下 0.05	<0.01	0.01		63
		コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理27日)	みなみ	1.45	上 0.41 下 0.37	0.08	0.09		50
		コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理27日)	いなむら	1.45	上 0.41 下 0.37	0.10	0.14		69
高知県農業技術センター	スタークル顆粒水和剤 (20%) 2,000倍 300L/10a	コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理32日)	よかった菜	0.32	上 0.12 下 0.14	0.01	0.03	10	87
		コマツナ(1/3量処理区)(薬剤処理32日)		0.11	上 0.07 下 0.06	0.01	0.02		58
		コマツナ(1/5量処理区)(薬剤処理32日)		0.08	上 0.04 下 0.04	<0.01	0.01		58
		コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理32日)	極楽天	0.32	上 0.12 下 0.14	0.01	0.02		76
		コマツナ(慣行量処理区)(薬剤処理32日)	夏楽天	0.32	上 0.12 下 0.14	0.01	0.02		71

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 3-5 今年度調査結果の概要（トルクルホスメチル）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物残留濃度(mg/kg)	残留基準値(mg/kg)	移行率(%)
	供試農薬(有効成分率)希釈倍率・処理量	供試作物	品種	最終散布処理後	作付け時(は種時)	収穫時			
兵庫県農林水産技術総合センター	リゾレックス水和剤(50%) 慣行量: 500倍 1/3量区: 1,500倍 1/5量区: 2,500倍 3L/m ³	ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理31日)	サマーズ	23.1	上 22.3 下 0.12	3.52	0.01	0.1	
		ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理31日)		10.0	上 4.95 下 0.02	2.42	<0.01	-	
		ホウレンソウ(1/5量処理区)(薬剤処理31日)		4.68	上 1.44 下 0.02	0.94	<0.01	-	
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理34日)	サマー スカイR7	22.6	上 18.5 下 0.11	4.28	0.02	0.05	
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理30日)	ミラージュ	26.4	上 21.0 下 0.10	4.94	<0.01	0.2	
香川県農業試験場	リゾレックス水和剤(50%) 慣行量: 500倍 1/3量: 1,500倍 1/5量: 2,500倍 3L/m ³	コマツナ(慣行量区)(薬剤処理23日)	よかつた菜	36.2	上 26.1 下 0.54	10.5	0.13	1	
		コマツナ(1/3量区)(薬剤処理23日)		11.3	上 5.04 下 0.30	1.45	0.08	3	
		コマツナ(1/5量区)(薬剤処理23日)		3.68	上 0.91 下 0.05	0.09	0.03	10	
		コマツナ(慣行量区)(薬剤処理23日)	楽天	36.2	上 26.1 下 0.54	10.5	0.10	1	
		コマツナ(慣行量区)(薬剤処理23日)	浜美2号	36.2	上 26.1 下 0.54	10.5	0.10	1	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 3-6 今年度調査結果の概要（フルトラニル）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物残留濃度(mg/kg)	残留基準値(mg/kg)	移行率(%)
	供試農薬(有効成分率)希釈倍率・処理量	供試作物	品種	最終散布処理後	作付け時(は種時)	収穫時			
栃木県農業試験場	モンカトフロアブル(40%) 慣行量:1,000倍 300L/10a 1/3量区: 3,000倍 300L/10a 1/5量区: 5,000倍 300L/10a	ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理31日)	サマーズ	3.83	上 3.80 下 0.02	1.37	<0.01	-	
		ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理31日)		1.13	上 1.45 下 0.01	0.47	<0.01	-	
		ホウレンソウ(1/5量処理区)(薬剤処理31日)		0.96	上 0.94 下 0.01	0.25	<0.01	-	
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理34日)	ミラージュ	3.30	上 3.35 下 0.02	1.56	<0.01	-	
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理30日)	クラウド	3.98	上 3.67 下 0.01	1.28	<0.01	-	
熊本県農業研究センター	モンカトフロアブル(40%) 1,000倍 300L/10a	ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理43日)	サマーズ	2.84	上 0.47*** 下 0.42	0.82	<0.01	-	
		ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理49日)		0.92	上 0.36*** 下 0.26	0.16	<0.01	-	
		ホウレンソウ(1/5量処理区)(薬剤処理43日)		0.60	上 0.20*** 下 0.12	0.10	<0.01	-	
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理43日)	アトラス	2.84	上 0.47*** 下 0.42	0.82	<0.01	-	
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理43日)	ミストラル	2.84	上 0.47*** 下 0.42	0.82	<0.01	-	
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理43日)	ハンター	2.84	上 0.47*** 下 0.42	0.82	<0.01	-	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※※作付直後は土壌が乾燥気味で10~20cmの深さまで採取できなかった(0~10cm採取後の穴が崩れたため)。よって、播種後の灌水により土壌が固くなった時に改めて0~10cm、10~20cmを採取した。

表 3-7 (1) 今年度調査結果の概要 (プロシミドン)

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	移行率 (%)	
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物	品種	最終散布 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時				
宮城県 農業園芸 総合 研究所	スミレックス水和剤 (50.0%) 慣行量区： 1,000倍 300L/10a	ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理41日)	サマーズ	4.08	上 4.31 下 0.02	0.03	1.24	5	31	
		ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理41日)		1.99	上 1.66 下 0.01	0.01			17	
		ホウレンソウ(1/5量処理区)(薬剤処理41日)		0.98	上 1.04 下 <0.01 (0.004)	0.03			19	
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理41日)	4.08	上 4.31 下 0.02	0.21	0.82			22	
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理41日)	4.08	上 4.31 下 0.02	0.02	0.64			19	
埼玉県 農林総合 センター	スミレックス水和剤 (50.0%) 慣行量区： 2,000倍 1/3量区： 6,000倍 1/5量区： 10,000倍 300L/10a	ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理37日)	サマーズ	3.64	上 1.35 下 0.78	0.99	0.12	5	10	
		ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理37日)		0.98	上 0.48 下 0.21	0.28			-	
		ホウレンソウ(1/5量処理区)(薬剤処理37日)		0.52	上 0.36 下 0.11	0.22			0.01	-
		ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理42日)	3.64	上 1.35 下 0.78	0.84	0.06			16	
		ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理35日)	3.64	上 1.35 下 0.78	0.89	0.1			19	
		トリトン	3.64	上 1.35 下 0.78	0.84	0.06			16	
長野県 農業試験場	スミレックス水和剤 (50.0%) 慣行量区： 1,000倍 1/3量区： 3,000倍 1/5量区： 5,000倍 300L/10a	ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理39日)	サマーズ	1.22	上 0.92 下 0.62	0.04	<0.01	5	-	
		ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理39日)		0.56	上 0.31 下 0.24	0.03			<0.01	-
		ホウレンソウ(1/5量処理区)(薬剤処理39日)		0.53	上 0.22 下 0.15	0.02			<0.01	-
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理40日)	1.22	上 0.92 下 0.62	0.04	<0.01			-	
		ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理40日)	0.56	上 0.31 下 0.24	0.03	<0.01			-	
		ホウレンソウ(1/5量処理区)(薬剤処理40日)	0.53	上 0.22 下 0.15	0.02	<0.01			-	
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理40日)	1.22	上 0.92 下 0.62	0.04	<0.01			-	
		ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理40日)	0.56	上 0.31 下 0.24	0.04	<0.01			-	
		ホウレンソウ(1/5量処理区)(薬剤処理40日)	0.53	上 0.22 下 0.15	0.02	<0.01			-	
		スーパーアリーナ7	0.56	上 0.31 下 0.24	0.03	<0.01			-	
岐阜県 農業技術 センター	スミレックス水和剤 (50%) 慣行量区： 1,000倍 1/3量区： 3,000倍 1/5量区： 5,000倍 300L/10a	ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理82日)	サマーズ	2.96	上 1.70 下 1.46	0.32	0.22	5	30	
		ホウレンソウ(1/3量処理区)(薬剤処理82日)		1.22	上 0.42 下 0.46	0.10			0.02	10
		ホウレンソウ(1/5量処理区)(薬剤処理82日)		0.63	上 0.20 下 0.20	0.03			<0.01	-
		ホウレンソウ(慣行量処理区)(薬剤処理83日)	2.96	上 1.70 下 1.46	0.26	0.13			20	
		スーパーアリーナ7	2.96	上 1.70 下 1.46	0.26	0.13			20	
		ハンター	2.96	上 1.70 下 1.46	0.30	0.22			31	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 3-7(2) 今年度調査結果の概要(プロシミドン)

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	移行率 (%)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物	品種	最終散布 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時			
奈良県 農業総 合セン ター	スミレックス水和剤 (50%) 慣行区： 1,000倍 1/3量区： 3,000倍 1/5量区： 5,000倍 300L/10a	ハウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理36日)	サマーズ	3.37	上 1.98	0.96	0.08	5	6
		下 0.27			6				
		ハウレンソウ(1/3量処 理区)(薬剤処理36日)		1.12	上 1.08	0.54	7		
		ハウレンソウ(1/5量処 理区)(薬剤処理36日)	0.60	上 0.54	0.27	0.03	8		
		下 0.02	8						
		ハウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理36日)	アンナ	3.37	上 1.98	0.96	0.08		6
下 0.27	6								
ハウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理36日)	ミラージュ	3.37	上 1.98	0.96	0.15	11			
下 0.27	11								

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 3-8 今年度調査結果の概要(ホスチアゼート)

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	移行率 (%)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物	品種	最終散布 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時			
栃木県 農業試 験場	ネマトリンエース粒 剤(1.5%) 慣行量： 20kg/10a 1/3量区： 6.67kg/10a 1/5量区： 4kg/10a	ハウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理73日)	サマーズ	2.31	上 4.17	0.23	<0.01	0.1	
		下 0.01							
		ハウレンソウ(1/3量処 理区)(薬剤処理73日)		1.42	上 1.42	0.09	<0.01		
		ハウレンソウ(1/5量処 理区)(薬剤処理73日)	0.29	上 0.76	0.04	<0.01			
		下 <0.01							
ハウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理73日)	ミラージュ	2.21	上 3.90	0.37	<0.01				
下 0.01,<0.01									
ハウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理73日)	クラウド	1.76	上 2.81	0.24	<0.01				
下 <0.01									

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

表 3-9 今年度調査結果の概要（マイクロブタニル）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	移行率 (%)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物	品種	最終散布 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時			
奈良県 農業総 合セン ター	ラリー水和剤 (10%) 慣行区: 2,000 倍 1/3 量区: 6,000 倍 1/5 量区: 10,000 倍 300L/10a	ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 36 日)	サマーズ	0.45	上 0.28 下 0.04	0.14	<0.01	1	-
		ホウレンソウ(1/3 量処理 区)(薬剤処理 36 日)		0.14	上 0.13 下<0.01	0.07	<0.01		-
		ホウレンソウ(1/5 量処理 区)(薬剤処理 36 日)		0.08	上 0.07 下<0.01	0.04	<0.01		-
		ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 36 日)	アンナ	0.45	上 0.28 下 0.04	0.14	<0.01		-
		ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 36 日)	ミラージュ	0.45	上 0.28 下 0.04	0.14	<0.01		-
		ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 36 日)							
熊本県 農業研 究セン ター	ラリー水和剤 (10%) 2,000 倍 300L/10a	ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 43 日)	サマーズ	0.40	上 0.18** 下 0.14	0.09	<0.01	1	-
		ホウレンソウ(1/3 量処理 区)(薬剤処理 43 日)		0.18	上 0.06** 下 0.04	0.02	<0.01		-
		ホウレンソウ(1/5 量処理 区)(薬剤処理 43 日)		0.10	上 0.03** 下 0.05	0.02	<0.01		-
		ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 43 日)	アトラス	0.40	上 0.18** 下 0.14	0.09	<0.01		-
		ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 43 日)	ミストラル	0.40	上 0.18** 下 0.14	0.09	<0.01		-
		ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 43 日)	ハンター	0.40	上 0.18** 下 0.14	0.09	<0.01		-

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※※作付直後は土壌が乾燥気味で10~20cmの深さまで採取できなかった(0~10cm採取後の穴が崩れたため)。よって、播種後の灌水により土壌が固くなった時に改めて0~10cm、10~20cmを採取した。

表 3-10 今年度調査結果の概要（メタラキシル）

調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)			後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	移行率 (%)
	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	供試作物	品種	最終 散布 処理後	作付け時 (は種時)	収穫時			
岐阜県 農業技 術セン ター	リドミル粒剤 2 (2.0%) 慣行量区: 6kg/10a, 1/3 量区: 2kg/10a, 1/5 量区: 1.2kg/10a,	ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 82 日)	サマーズ	0.92	上 0.42 下 0.42	0.10	0.09	44	
		ホウレンソウ(1/3 量処理 区)(薬剤処理 82 日)		0.30	上 0.16 下 0.12	0.04	<0.01	-	
		ホウレンソウ(1/5 量処理 区)(薬剤処理 82 日)		0.14	上 0.06 下 0.06	0.02	<0.01	-	
		ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 83 日)	スーパー アリーナ 7	0.92	上 0.42 下 0.42	0.08	0.04	22	
		ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 83 日)	ハンター	0.92	上 0.42 下 0.42	0.11	0.10	47	
地方独 立行政 法人大 阪府立 環境農 林水産 総合研 究所	アルパリン粒剤 (1.0%) 慣行量区: 6kg/10a, 1/3 量区: 2kg/10a, 1/5 量区: 1.2kg/10a	コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 35 日)	よかつた菜	1.24	上 1.24 下 0.068	上 0.168 下 0.068	0.22	46	
		コマツナ(1/3 量処理 区)(薬剤処理 35 日)		1.03	上 0.580 下 0.021	上 0.024 下 0.030	0.07	59	
		コマツナ(1/5 量処理 区)(薬剤処理 35 日)		0.544	上 0.539 下 0.081	上 0.022 下 0.030	0.05	44	
		コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 35 日)	ひとみ	1.25	上 1.240 下 1.410	上 0.168 下 0.068	0.24	50	
		コマツナ(慣行量処理 区)(薬剤処理 35 日)	楽天	1.25	上 1.240 下 1.410	上 0.168 下 0.068	0.15	31	
兵庫 農林水 産技術 総合セ ンター	リドミル粒剤 2 (2.0%) 慣行量区: 6kg/10a 1/3 量区: 2kg/10a 1/5 量区: 1.2kg/10a	ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 31 日)	サマーズ	1.84	上 0.74 下 <0.01	0.61	0.03	4	
		ホウレンソウ(1/3 量処理 区)(薬剤処理 31 日)		0.56	上 0.48 下 <0.01	0.24	<0.01	-	
		ホウレンソウ(1/5 量処理 区)(薬剤処理 31 日)		0.26	上 0.10 下 <0.01	0.10	<0.01	-	
		ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 30 日)	ミラージュ	1.32	上 0.84 下 <0.01	0.72	0.01	1	
		ホウレンソウ(慣行量処 理区)(薬剤処理 34 日)	サマー スカイ R7	1.58	上 0.89 下 <0.01	0.75	0.08	10	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

3-3 試験機関ごとの調査結果の概要

1) 北海道立総合研究機構 農業研究本部中央農業試験場

○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン粒剤 2% 6kg/10a 粒剤を土壌に散布し、軽く土壌と混和 7月2日・1回				
○耕耘月日	7月2日に粗起こし、7月3日に薬剤処理後に耕起				
○後作の作物名 品種名	こまつな				
	よかった菜（統一品種）			CR 緑郷 EX	浜ちゃん
	慣行量区	1/3 量区	1/5 量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	7/3	7/3	7/3	7/3	7/3
（薬剤処理からの経過日数）	30	30	30	30	30
収穫月日	8/1	8/1	8/1	8/1	8/1
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	0.06	0.02	0.01	0.04	0.06
○後作の残留基準値（mg/kg）	5				
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm	0.04	<0.01	<0.01	0.04	0.04
播種時 0-10cm	0.92	0.01	0.01	0.92	0.92
10-20cm	—	—	—	—	—
収穫時	0.14	0.03	0.02	0.14	0.14
○農薬成分の移行率*（%）	17	—	—	11	17
○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スタークル粒剤 1.0% 6kg/10a 粒剤を土壌に散布し、軽く土壌と混和 7月2日・1回				
○耕耘月日	7月2日に粗起こし、7月3日に薬剤処理後に耕起				
○後作の作物名 品種名	こまつな				
	よかった菜（統一品種）			CR 緑郷 EX	浜ちゃん
	慣行量区	1/3 量区	1/5 量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	7/3	7/3	7/3	7/3	7/3
（薬剤処理からの経過日数）	30	30	30	30	30
収穫月日	8/1	8/1	8/1	8/1	8/1
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	0.38	0.09	0.04	0.28	0.28
○後作の残留基準値（mg/kg）	10				
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm	0.48	0.12	0.04	0.48	0.48
播種時 0-10cm	0.33	0.20	0.08	0.33	0.33
10-20cm	—	—	—	—	—
収穫時	0.40	0.10	0.12	0.40	0.40
○農薬成分の移行率*（%）	105	64	41	77	77

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

2) 宮城県農業・園芸総合研究所

○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	アルバリン顆粒水溶剤 20% 2,000倍 300L/10a 散布 9/12, 9/19, 9/26 (3回)				
○耕耘月日	9/27				
○後作の作物名 品種名	ハウレンソウ				
	サマーズ (統一品種)			クロノス	スーパ [®] -アリーナ
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	9/27	9/27	9/27	9/27	9/27
(薬剤処理からの経過日数)	1	1	1	1	1
収穫月日	11/7	11/7	11/7	11/7	11/7
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.27	0.25	0.23	0.35	0.23
○後作の残留基準値 (mg/kg)	15				
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 播種時	1.56	0.81	0.48	—	—
0-10cm	1.52	0.83	0.48	—	—
10-20cm	0.10	0.10	0.12	—	—
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm	1.52	0.59	0.59	1.43	1.83
10-20cm	0.26	0.26	0.24	0.32	0.47
○農薬成分の移行率* (%)	18	36	43	23	14
○対象農薬成分名 種別	プロシミドン 殺菌剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スミレックス水和剤 50% 1,000倍 300L/10a 散布 9/12, 9/19, 9/26 (3回)				
○耕耘月日	9/27				
○後作の作物名 品種名	ハウレンソウ				
	サマーズ (統一品種)			クロノス	スーパ [®] -アリーナ
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	9/27	9/27	9/27	9/27	9/27
(薬剤処理からの経過日数)	1	1	1	1	1
収穫月日	11/7	11/7	11/7	11/7	11/7
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	1.24	0.22	0.15	0.82	0.64
○後作の残留基準値 (mg/kg)	5				
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 播種時	4.08	1.99	0.98	—	—
0-10cm	4.31	1.66	1.04	—	—
10-20cm	0.02	0.01	<0.01(0.004)	—	—
収穫時	3.61	0.80	0.64	3.10	2.75
10-20cm	0.03	0.01	0.03	0.21	0.02
○農薬成分の移行率* (%)	31	17	19	22	19

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

3) 栃木県農業試験場

○対象農薬成分名 種別	フルトラニル 殺菌剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モンカットフロアブル 40 フルトラニル 40.0% 1,000 倍、300L/10a 蓄圧式噴霧器で散布 8月22日、8月29日、9月5日・3回				
○耕耘月日	9月6日				
○後作の作物名 品種名	ほうれんそう				
	サマーズ (統一品種)			ミラージュ	クラウド
	慣行量区	1/3 量区	1/5 量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	8/8	8/8	8/8	8/8	8/8
(薬剤処理からの経過日数)	73	73	73	73	73
収穫月日	11/18	11/18	11/18	11/18	11/18
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
○後作の残留基準値 (mg/kg)	2.0				
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm	3.83	1.13	0.96	3.30	3.98
播種時 (耕起前) 0-10cm	3.80	1.45	0.94	3.35	3.67
10-20cm	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01
収穫時	1.37	0.47	0.25	1.56	1.28
○農薬成分の移行率* (%)	-	-	-	-	-
○対象農薬成分名 種別	ホスチアゼート 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ネマトリンエース粒剤 ホスチアゼート 1.5% 20kg/10a 手散布後、レーキで土壌表面を軽く混和 9月5日・1回				
○耕耘月日	9月6日				
○後作の作物名 品種名	ほうれんそう				
	サマーズ (統一品種)			ミラージュ	クラウド
	慣行量区	1/3 量区	1/5 量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	8/8	8/8	8/8	8/8	8/8
(薬剤処理からの経過日数)	73	73	73	73	73
収穫月日	11/18	11/18	11/18	11/18	11/18
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
○後作の残留基準値 (mg/kg)	0.1				
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm	2.31	1.42	0.29	2.21	1.76
播種時 0-10cm	4.17	1.42	0.76	3.90	2.81
10-20cm	0.01	<0.01	<0.01	0.01, <0.01	<0.01
収穫時	0.23	0.09	0.04	0.37	0.24
○農薬成分の移行率* (%)	-	-	-	-	-

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

4) 埼玉県農林総合研究センター

○対象農薬成分名 種別	プロシミドン 殺菌剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スミレックス水和剤 50% 1000倍・300L/10a、3000倍・300L/10a、5000倍・300L/10a 肩掛噴霧器による散布 4月29日、5月8日、5月14日・3回				
○耕耘月日	5月15日				
○後作の作物名 品種名	ハウレンソウ				
	サマーズ（統一品種）			トリトン	プリウス アーリー7
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	5/15	5/15	5/15	5/15	5/15
（薬剤処理からの経過日数）	37	37	37	42	35
収穫月日	6/20	6/20	6/20	6/25	6/18
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	0.12	0.02	0.01	0.06	0.1
○後作の残留基準値（mg/kg）	5				
○土壌中濃度最終処理後	3.64	0.98	0.52	3.64	3.64
播種時	1.35	0.48	0.36	1.35	1.35
10-20cm	0.78	0.21	0.11	0.78	0.78
収穫時	0.99	0.28	0.22	0.84	0.89
○農薬成分の移行率*（%）	10	-	-	16	19
○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン水溶剤 20% 2000倍・300L/10a、6000倍・300L/10a、10000倍・300L/10a 肩掛噴霧器による散布 4月29日、5月8日、5月14日・3回				
○耕耘月日	5月15日				
○後作の作物名 品種名	ハウレンソウ				
	サマーズ（統一品種）			トリトン	プリウス アーリー7
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	5/15	5/15	5/15	5/15	5/15
（薬剤処理からの経過日数）	37	37	37	42	35
収穫月日	6/20	6/20	6/20	6/25	6/18
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
○後作の残留基準値（mg/kg）	3				
○土壌中濃度最終処理後	0.26	0.07	0.05	0.26	0.26
播種時	0.12	0.04	0.01	0.12	0.12
10-20cm	0.04	0.02	<0.01	0.04	0.04
収穫時	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
○農薬成分の移行率*（%）	-	-	-	-	-

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

5) 長野県農業試験場

○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤								
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン粒剤 含有量 2.0% 6kg/10a、3 kg/10a、1.2 kg/10a 手散布 9/9 一回								
○耕耘月日	9/10								
○後作の作物名 品種名	ホウレンソウ								
	サマーズ (統一品種)			スーパーアリーナ7			プリウスアリーナ7		
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	1/3量区	1/5量区
播種月日	9/10	9/10	9/10	9/10	9/10	9/10	9/10	9/10	9/10
(薬剤処理からの経過日数)	39	39	39	40	40	40	40	40	40
収穫月日	9/17	9/17	9/17	9/18	9/18	9/18	9/18	9/18	9/18
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
○後作の残留基準値 (mg/kg)	3								
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm	0.66	0.16	0.14	0.66	0.16	0.14	0.66	0.16	0.14
播種時 0-10cm	0.50	0.04	0.01	0.50	0.04	0.01	0.50	0.04	0.01
10-20cm	0.04	0.03	0.01	0.04	0.03	0.01	0.04	0.03	0.01
収穫時	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
○農薬成分の移行率※ (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○対象農薬成分名 種別	プロシミドン 殺菌剤								
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スミレックス水和剤 50% 1000倍、3000倍、5000倍 300L/10a 如雨露で全面散布 8/22 8/29 9/9 3回								
○耕耘月日	9/10								
○後作の作物名 品種名	ホウレンソウ								
	サマーズ (統一品種)			スーパーアリーナ7			プリウスアリーナ7		
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	1/3量区	1/5量区
播種月日	9/10	9/10	9/10	9/10	9/10	9/10	9/10	9/10	9/10
(薬剤処理からの経過日数)	39	39	39	40	40	40	40	40	40
収穫月日	9/17	9/17	9/17	9/18	9/18	9/18	9/18	9/18	9/18
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
○後作の残留基準値 (mg/kg)	5								
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm	1.22	0.56	0.53	1.22	0.56	0.53	1.22	0.56	0.53
播種時 0-10cm	0.92	0.31	0.22	0.92	0.31	0.22	0.92	0.31	0.22
10-20cm	0.62	0.24	0.15	0.62	0.24	0.15	0.62	0.24	0.15
収穫時	0.04	0.03	0.02	0.04	0.03	0.02	0.04	0.03	0.02
○農薬成分の移行率※ (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

6) 岐阜県農業技術センター

○対象農薬成分名 種別	メタラキシル 殺菌剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	リドミル粒剤2 2.0% 6kg/10a 粒剤を土壌に散布し、土壌と混和 9月25日・1回				
○耕耘月日	9月26日				
○後作の作物名 品種名	ほうれんそう				
	サマーズ (統一品種)			スーパーアリア7	ハンター
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	9/26	9/26	9/26	9/26	9/26
(薬剤処理からの経過日数)	82	82	82	82	82
収穫月日	12/2	12/2	12/2	12/2	12/2
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.09	<0.01	<0.01	0.04	0.04
○後作の残留基準値 (mg/kg)	2				
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm 播種時	0.92	0.30	0.14	0.92	0.92
0-10cm	0.42	0.16	0.06	0.42	0.42
10-20cm	0.42	0.12	0.06	0.42	0.42
収穫時	0.10	0.04	0.02	0.08	0.11
○農薬成分の移行率* (%)	44	-	-	22	47
○対象農薬成分名 種別	プロシミドン 殺菌剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スミレックス水和剤 50.0% 1000倍・300L/10a 希釈液を土壌に散布 9月11日、18日、25日・3回				
○耕耘月日	9月26日				
○後作の作物名 品種名	ほうれんそう				
	サマーズ (統一品種)			スーパーアリア7	ハンター
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	9/26	9/26	9/26	9/26	9/26
(薬剤処理からの経過日数)	83	83	83	83	83
収穫月日	12/3	12/3	12/3	12/3	12/3
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.22	0.02	<0.01	0.13	0.22
○後作の残留基準値 (mg/kg)	5				
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm 播種時	2.96	1.22	0.63	2.96	2.96
0-10cm	1.70	0.42	0.20	1.70	1.70
10-20cm	1.46	0.46	0.20	1.46	1.46
収穫時	0.32	0.10	0.03	0.26	0.30
○農薬成分の移行率* (%)	30	10	-	20	31

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

7) 愛知県農業総合試験場

○対象農薬成分名 種別	クロチアニジン 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ダントツ水溶剤 16% 2000倍、6000倍、10000倍・300L/10a 背負式動力噴霧器による散布、散布時に他の区にはビニール被覆 (ジノテフラン水溶剤と混用) 5月16日、23日、30日・3回				
○耕耘月日	5月16日に耕耘、5月30日に薬剤処理後耕耘				
○後作の作物名 品種名	こまつな				
	よかった菜(統一品種)			菜々子	菜々美
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	5/31	5/31	5/31	5/31	5/31
(薬剤処理からの経過日数)	26	26	26	26	26
収穫月日	6/25	6/25	6/25	6/25	6/25
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.20	0.05	0.03	0.19	0.20
○後作の残留基準値 (mg/kg)	1				
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm	0.58	0.15	0.10	0.58	0.58
播種時 0-10cm	0.73	0.21	0.04	0.73	0.73
10-20cm	0.18	0.05	0.04	0.18	0.18
収穫時	0.12	0.09	0.02	0.12	0.12
○農薬成分の移行率* (%)	68	-	-	67	65
○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	アルバリン顆粒水溶剤 20% 2000倍、6000倍、10000倍・300L/10a 背負式動力噴霧器による散布、散布時に他の区にはビニール被覆 5月16日、23日、30日・3回				
○耕耘月日	5月16日に耕耘、5月30日に薬剤処理後耕耘				
○後作の作物名 品種名	こまつな				
	よかった菜(統一品種)			菜々子	菜々美
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	5/31	5/31	5/31	5/31	5/31
(薬剤処理からの経過日数)	26	26	26	26	26
収穫月日	6/25	6/25	6/25	6/25	6/25
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.06	0.04	0.02	0.06	0.05
○後作の残留基準値 (mg/kg)	10				
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm	0.48	0.12	0.06	0.48	0.48
播種時 0-10cm	0.53	0.16	0.04	0.53	0.53
10-20cm	0.15	0.04	0.04	0.15	0.15
収穫時	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
○農薬成分の移行率* (%)	117	-	-	117	97

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

8) 京都府農林水産技術センター

○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	アルバリン粒剤 1% 慣行区 6kg/10a、1/3区 2kg/10a、1/5区 1.2kg/10a 粒剤を土壤に散布し、軽く土壤と混和 7月11日・1回				
○耕耘月日	6月4日に耕耘・畝立て、7月12日に耕耘後播種				
○後作の作物名 品種名	こまつな				
	よかった菜（統一品種）			楽天	菜々美
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	7/12	7/12	7/12	7/12	7/12
（薬剤処理からの経過日数）	27	27	27	27	27
収穫月日	8/8	8/8	8/8	8/8	8/8
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	0.22	0.04	0.04	0.18	0.27
○後作の残留基準値（mg/kg）	10				
○土壤中濃度最終処理後 0-10cm 播種時	1.18	0.54	0.22	1.18	1.18
0-10cm	0.46	0.20	0.06	0.46	0.46
10-20cm	0.03	0.05	0.02	0.03	0.03
収穫時	0.02	<0.01	<0.01	0.03	0.06
○農薬成分の移行率*（%）	229	153	162	126	231
○対象農薬成分名 種別	クロチアニジン 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ダントツ粒剤 0.5% 慣行区 6kg/10a、1/3区 2kg/10a、1/5区 1.2kg/10a 粒剤を土壤に散布し、軽く土壤と混和 7月11日・1回				
○耕耘月日	6月4日に耕耘・畝立て、7月12日に耕耘後播種				
○後作の作物名 品種名	こまつな				
	よかった菜（統一品種）			楽天	菜々美
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	7/12	7/12	7/12	7/12	7/12
（薬剤処理からの経過日数）	27	27	27	27	27
収穫月日	8/8	8/8	8/8	8/8	8/8
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	0.08	0.02	0.02	0.06	0.06
○後作の残留基準値（mg/kg）	1				
○土壤中濃度最終処理後 0-10cm 播種時	0.90	0.68	0.58	0.90	0.90
0-10cm	0.22	0.22	0.07	0.22	0.22
10-20cm	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02
収穫時	0.18	0.03	0.03	0.13	0.16
○農薬成分の移行率*（%）	40	35	32	45	44

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

9) 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

○対象農薬成分名 種別	メタラキシル 粒剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	リドミル粒剤 2 2% 6kg/10a (1/1 区)、2kg/10a (1/3 区)、1.2kg/10a (1/5 区) 粒剤を土壤に散布し、軽く土壤と混和 4/16・1 回				
○耕耘月日	4/16 に粗起こし、薬剤処理後 4/17 に耕起畝立て				
○後作の作物名 品種名	こまつな				
	よかった菜 (統一品種)			ひとみ	楽天
	慣行量区	1/3 量区	1/5 量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	4/17	4/17	4/17	4/17	4/17
(薬剤処理からの経過日数)	34	34	34	34	34
収穫月日	5/22	5/22	5/22	5/22	5/22
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.224	0.070	0.048	0.224	0.153
○後作の残留基準値 (mg/kg)	1				
○土壤中濃度最終処理後 0-10cm	1.24	1.03	0.544	1.24	1.24
播種時 0-10cm	1.41	0.580	0.539	1.41	1.41
10-20cm	0.068	0.021	0.081	0.068	0.068
収穫時 0-10cm	0.168	0.024	0.022	0.168	0.168
10-20cm	0.132	0.030	0.030	0.132	0.132
○農薬成分の移行率* (%)	46	59	44	50	31
○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 粒剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	アルバリン粒剤 1% 6kg/10a (1/1 区)、2kg/10a (1/3 区)、1.2kg/10a (1/5 区) 粒剤を土壤に散布し、軽く土壤と混和 4/16・1 回				
○耕耘月日	4/16 に粗起こし、薬剤処理後 4/17 に耕起畝立て				
○後作の作物名 品種名	こまつな				
	よかった菜 (統一品種)			よかった菜	よかった菜
	慣行量区	1/3 量区	1/5 量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	4/17	4/17	4/17	4/17	4/17
(薬剤処理からの経過日数)	34	34	34	34	34
収穫月日	5/22	5/22	5/22	5/22	5/22
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.120	0.064	0.068	0.170	0.125
○後作の残留基準値 (mg/kg)	10				
○土壤中濃度最終処理後 0-10cm	0.878	0.489	0.324	0.878	0.878
播種時 0-10cm	0.294	0.186	0.130	0.294	0.294
10-20cm	0.054	0.056	0.052	0.054	0.054
収穫時 0-10cm	0.038	<0.005	0.008	0.038	0.038
10-20cm	0.054	0.008	0.008	0.054	0.054
○農薬成分の移行率* (%)	110	300	210	160	120

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の 1/2 を乗じた値を計算に用いた。

10) 奈良県農業総合センター

○対象農薬成分名 種別	プロシミドン 殺菌剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スミレックス水和剤 50% 慣行区 1000 倍希釈、1/3 量区 3000 倍希釈、1/5 量区 5000 倍希釈、 300L/10a 背負式噴霧器で土壌表面に散布 8月27日、9月3日、9月10日・3回				
○耕耘月日	9月11日に管理機で畝上を耕起				
○後作の作物名 品種名	ほうれんそう				
	サマーズ（統一品種）			アンナ	ミラージュ
	慣行量区	1/3 量区	1/5 量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	9/11	9/11	9/11	9/11	9/11
（薬剤処理からの経過日数）	36	36	36	36	36
収穫月日	10/16	10/16	10/16	10/16	10/16
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	0.08	0.05	0.03	0.08	0.15
○後作の残留基準値（mg/kg）	5				
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm 播種時	3.37	1.12	0.60	3.37	3.37
	1.98	1.08	0.54	1.98	1.98
10-20cm	0.27	0.03	0.02	0.27	0.27
収穫時	0.96	0.54	0.27	0.96	0.96
○農薬成分の移行率*（%）	6	7	8	6	11
○対象農薬成分名 種別	マイクロブタニル 殺菌剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ラリー水和剤 10% 慣行区 2000 倍希釈、1/3 量区 6000 倍希釈、1/5 量区 10000 倍希釈、 300L/10a 背負式噴霧器で土壌表面に散布 8月27日、9月3日、9月10日・3回				
○耕耘月日	9月11日に管理機で畝上を耕起				
○後作の作物名 品種名	ほうれんそう				
	サマーズ（統一品種）			アンナ	ミラージュ
	慣行量区	1/3 量区	1/5 量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	9/11	9/11	9/11	9/11	9/11
（薬剤処理からの経過日数）	36	36	36	36	36
収穫月日	10/16	10/16	10/16	10/16	10/16
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
○後作の残留基準値（mg/kg）	1				
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm 播種時	0.45	0.14	0.08	0.45	0.45
	0.28	0.13	0.07	0.28	0.28
10-20cm	0.04	<0.01	<0.01	0.04	0.04
収穫時	0.14	0.07	0.04	0.14	0.14
○農薬成分の移行率*（%）	-	-	-	-	-

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

11) 兵庫立県農林水産技術総合センター

○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	アルバリン粒剤 1% 6kg/10a 粒剤を均一に手散布し、軽くレイキにより土壌混和 4月25日・1回				
○耕耘月日	4月26日に手押し型耕耘機により耕起				
○後作の作物名 品種名	ほうれんそう				
	サマーズ（統一品種）			ミラージュ	サマー スカイ R7
	慣行量区	1/3 量区	1/5 量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	4/26	4/26	4/26	4/26	4/26
（薬剤処理からの経過日数）	31	31	31	30	34
収穫月日	5/26	5/26	5/26	5/25	5/29
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	0.03	<0.01	<0.01	0.03	0.02
○後作の残留基準値（mg/kg）	15				
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm 播種時	0.53	0.18	0.12	0.52	0.56
0-10cm	0.44	0.12	0.06	0.37	0.44
10-20cm	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
収穫時	0.21	0.08	0.06	0.10	0.16
○農薬成分の移行率*（%）	10	-	-	16	3
○対象農薬成分名 種別	メタラキシル 殺菌剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	リドミル粒剤 2 2% 6kg/10a 粒剤を均一に手散布し、軽くレイキにより土壌混和 4月25日・1回				
○耕耘月日	4月26日に手押し型耕耘機により耕起				
○後作の作物名 品種名	ほうれんそう				
	サマーズ（統一品種）			ミラージュ	サマー スカイ R7
	慣行量区	1/3 量区	1/5 量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	4/26	4/26	4/26	4/26	4/26
（薬剤処理からの経過日数）	31	31	31	30	34
収穫月日	5/26	5/26	5/26	5/25	5/29
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	0.08
○後作の残留基準値（mg/kg）	2.0				
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm 播種時	1.84	0.56	0.26	1.32	1.58
0-10cm	0.74	0.48	0.10	0.84	0.89
10-20cm	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
収穫時	0.61	0.24	0.10	0.72	0.75
○農薬成分の移行率*（%）	4	-	-	1	10

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

○対象農薬成分名 種別	トルクロホスメチル 殺菌剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	リゾレックス水和剤 50% 500倍・3L/m ² ジョウロにより灌注し、軽くレイキにより土壌混和 4月25日・1回				
○耕耘月日	4月26日に手押し型耕耘機により耕起				
○後作の作物名 品種名	ほうれんそう				
	サマーズ (統一品種)			ミラージュ	サマー スカイ R7
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	4/26	4/26	4/26	4/26	4/26
(薬剤処理からの経過日数)	31	31	31	30	34
収穫月日	5/26	5/26	5/26	5/25	5/29
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
○後作の残留基準値 (mg/kg)	2.0				
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm	23.1	10.0	4.68	26.4	22.6
播種時 0-10cm	22.3	4.95	1.44	21.0	18.5
10-20cm	0.12	0.02	0.02	0.10	0.11
収穫時	3.52	2.42	0.94	4.94	4.28
○農薬成分の移行率* (%)	0.1	-	-	0.05	0.2

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

12) 山口県農林総合技術センター

○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン水溶剤 20.0% 薬剤処理・慣行量区 2,000倍・300L/10a 薬剤処理・慣行量1/3区 6,000倍・300L/10a 薬剤処理・慣行量1/5区 10,000倍・300L/10a バッテリー動力噴霧機による土壌表面全面散布（2農薬混用） 10月22日、10月29日、11月5日・3回					
○耕耘月日	10月18日：堆肥施用後にトラクターでほ場全面を耕耘 11月5日：区ごとに小型耕耘機で耕耘畝立て					
○後作の作物名 品種名 播種月日 (薬剤処理からの経過日数) 収穫月日	ハウレンソウ					
	サマーズ(統一品種)			ハンター	クローネ	
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区	
	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	
	92	92	92	92	92	
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
○後作の残留基準値 (mg/kg)	3					
○土壌中濃度最終処理後 播種時 0-10cm 10-20cm 収穫時	0-10cm	0.18	0.10	0.05	0.18	0.18
	0-10cm	0.20	0.07	0.03	0.20	0.20
	10-20cm	0.03	0.01	<0.01	0.03	0.03
	収穫時	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
○農薬成分の移行率* (%)	-	-	-	-	-	
○対象農薬成分名 種別	クロチアニジン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ダントツ水溶剤 16.0% 薬剤処理・慣行量区 2,000倍・300L/10a 薬剤処理・慣行量1/3区 6,000倍・300L/10a 薬剤処理・慣行量1/5区 10,000倍・300L/10a バッテリー動力噴霧機による土壌表面全面散布（2農薬混用） 10月22日、10月29日、11月5日・3回					
○耕耘月日	10月18日：堆肥施用後にトラクターでほ場全面を耕耘 11月5日：区ごとに小型耕耘機で耕耘畝立て					
○後作の作物名 品種名 播種月日 (薬剤処理からの経過日数) 収穫月日	ハウレンソウ					
	サマーズ(統一品種)			ハンター	クローネ	
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区	
	11/6	11/6	11/6	11/6	11/6	
	92	92	92	92	92	
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.16	0.04	0.03	0.12	0.12	
○後作の残留基準値 (mg/kg)	3					
○土壌中濃度最終処理後 播種時 0-10cm 10-20cm 収穫時	0-10cm	0.35	0.20	0.11	0.35	0.35
	0-10cm	0.48	0.18	0.10	0.48	0.48
	10-20cm	0.14	0.05	0.02	0.14	0.14
	収穫時	0.32	0.12	0.08	0.38	0.36
○農薬成分の移行率* (%)	41	27	34	28	29	

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

13) 徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所

○対象農薬成分名 種別	クロチアニジン 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ダントツ粒剤 0.5% 6kg/10a 粒剤を土壤に散布し、軽く土壤と混和 9月24日・1回				
○耕耘月日	9月25日				
○後作の作物名 品種名	こまつな				
	よかった菜（統一品種）			みなみ	いなむら
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	9/25	9/25	9/25	9/25	9/25
（薬剤処理からの経過日数）	27	27	27	27	27
収穫月日	10/22	10/22	10/22	10/22	10/22
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	0.03	0.01	0.01	0.01	0.04
○後作の残留基準値（mg/kg）	1				
○土壤中濃度最終処理後 0-10cm 播種時	0.20	0.15	0.07	0.20	0.20
0-10cm	0.18	0.06	0.04	0.18	0.18
10-20cm	0.18	0.04	0.02	0.18	0.18
収穫時	0.10	0.02	0.02	0.10	0.08
○農薬成分の移行率*（%）	22	17	18	7	33
○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スタークル粒剤 1.0% 6kg/10a 粒剤を土壤に散布し、軽く土壤と混和 9月24日・1回				
○耕耘月日	9月25日				
○後作の作物名 品種名	こまつな				
	よかった菜（統一品種）			みなみ	いなむら
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	9/25	9/25	9/25	9/25	9/25
（薬剤処理からの経過日数）	27	27	27	27	27
収穫月日	10/22	10/22	10/22	10/22	10/22
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	0.04	0.02	0.01	0.09	0.14
○後作の残留基準値（mg/kg）	10				
○土壤中濃度最終処理後 0-10cm 播種時	1.45	0.13	0.10	1.45	1.45
0-10cm	0.41	0.10	0.05	0.41	0.41
10-20cm	0.37	0.06	0.05	0.37	0.37
収穫時	0.05	0.01	<0.01	0.08	0.10
○農薬成分の移行率*（%）	28	63	63	50	69

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

14) 香川県農業試験場

○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン粒剤 2.0% 6kg/10a 手で散布し、レイキで土壌と軽く混和 5月7日・1回					
○耕耘月日	5月8日					
○後作の作物名 品種名 播種月日 (薬剤処理からの経過日数) 収穫月日	こまつな					
	よかった菜(統一品種)			楽天	浜美2号	
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区	
	5/8	5/8	5/8	5/8	5/8	
	23	23	23	23	23	
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.16	0.10	0.02	0.07	0.10	
○後作の残留基準値 (mg/kg)	5					
○土壌中濃度最終処理後 播種時 0-10cm 10-20cm 収穫時	0-10cm	1.20	0.41	0.22	1.20	1.20
	0-10cm	1.07	0.24	0.15	1.07	1.07
	10-20cm	0.01	<0.01	<0.01	0.01	0.01
	収穫時	0.06	0.02	<0.01	0.06	0.06
○農薬成分の移行率* (%)	63	144	73	28	39	
○対象農薬成分名 種別	トルクロホスメチル 殺菌剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	リゾレックス水和剤 50% 500倍、3L/m ² 蓮口を上向きし、ジョウロを用いて土壌灌注 5月7日・1回					
○耕耘月日	5月8日					
○後作の作物名 品種名 播種月日 (薬剤処理からの経過日数) 収穫月日	こまつな					
	よかった菜(統一品種)			楽天	浜美2号	
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区	
	5/8	5/8	5/8	5/8	5/8	
	23	23	23	23	23	
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.13	0.08	0.03	0.10	0.10	
○後作の残留基準値 (mg/kg)	2.0					
○土壌中濃度最終処理後 播種時 0-10cm 10-20cm 収穫時	0-10cm	36.2	11.3	3.68	36.2	36.2
	0-10cm	26.1	5.04	0.91	26.1	26.1
	10-20cm	0.54	0.30	0.05	0.54	0.54
	収穫時	10.5	1.45	0.09	10.5	10.5
○農薬成分の移行率* (%)	1	3	10	1	1	

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

15) 高知県農業技術センター

○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スタークル顆粒水溶剤 20% 2,000倍希釈・300L/10a 3頭口のドリフトレスノズルを付けた背負い式動力噴霧器を用いて 土壌表面に均一に散布 8月27日、9月2日、9月9日・3回				
○耕耘月日	9月12日				
○後作の作物名 品種名	こまつな				
	よかった菜（統一品種）			極楽天	夏楽天
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	9/12	9/12	9/12	9/12	9/12
（薬剤処理からの経過日数）	32	32	32	32	32
収穫月日	10/11	10/11	10/11	10/11	10/11
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	0.03	0.02	0.01	0.02	0.02
○後作の残留基準値（mg/kg）	10				
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm 播種時	0.32	0.11	0.08	0.32	0.32
0-10cm	0.12	0.07	0.04	0.12	0.12
10-20cm	0.14	0.06	0.04	0.14	0.14
収穫時	0.01	0.01	<0.01	0.01	0.01
○農薬成分の移行率*（%）	87	58	58	76	71
○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン顆粒水溶剤 20% 2,000倍希釈・300L/10a 3頭口のドリフトレスノズルを付けた背負い式動力噴霧器を用いて 土壌表面に均一に散布 8月22日、8月29日、9月5日・3回				
○耕耘月日	9月12日				
○後作の作物名 品種名	こまつな				
	よかった菜（統一品種）			極楽天	夏楽天
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	9/12	9/12	9/12	9/12	9/12
（薬剤処理からの経過日数）	36	36	36	36	36
収穫月日	10/11	10/11	10/11	10/11	10/11
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
○後作の残留基準値（mg/kg）	5				
○土壌中濃度最終処理後 0-10cm 播種時	0.23	0.11	0.05	0.23	0.23
0-10cm	0.03	0.02	0.01	0.03	0.03
10-20cm	0.04	0.02	0.02	0.04	0.04
収穫時	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01
○農薬成分の移行率*（%）	41	29	41	50	71

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

16) 熊本県農業研究センター

○対象農薬成分名 種別	フルトラニル 殺菌剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モンカットフロアブル 40% 1000倍希釈・300L/10a 土壌表面散布 9月10日、9月17日、9月24日・3回				
○耕耘月日	9月25日				
○後作の作物名 品種名	ほうれんそう				
	サマーズ（統一品種）			アトラス	ミストラル および ハンター
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	9/25	9/25	9/25	9/25	9/25
（薬剤処理からの経過日数）	43	49	43	43	43
収穫月日	11/6	11/12	11/6	11/6	11/6
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
○後作の残留基準値（mg/kg）	2				
○土壌中濃度最終処理後	2.84	0.92	0.60	2.84	2.84
播種時	0.94	0.26	0.12	0.94	0.94
10-20cm	0.83	0.16	0.20	0.83	0.83
収穫時	0.82	0.16	0.10	0.82	0.82
○農薬成分の移行率(%) [※]	-	-	-	-	-
○対象農薬成分名 種別	マイクロブタニル 殺菌剤				
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ラリー水和剤 10% 2000倍希釈・300L/10a 土壌表面散布 9月10日、9月17日、9月24日・3回				
○耕耘月日	9月25日				
○後作の作物名 品種名	ほうれんそう				
	サマーズ（統一品種）			アトラス	ミストラル および ハンター
	慣行量区	1/3量区	1/5量区	慣行量区	慣行量区
播種月日	9/25	9/25	9/25	9/25	9/25
（薬剤処理からの経過日数）	43	49	43	43	43
収穫月日	11/6	11/12	11/6	11/6	11/6
○後作の作物残留濃度（mg/kg）	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
○後作の残留基準値（mg/kg）	1				
○土壌中濃度最終処理後	0.40	0.18	0.10	0.40	0.40
播種時	0.18	0.06	0.03	0.18	0.18
10-20cm	0.14	0.04	0.05	0.14	0.14
収穫時	0.09	0.02	0.02	0.09	0.09
○農薬成分の移行率(%) [※]	-	-	-	-	-

※定量下限値以下の値を用いて移行率を算出する場合、定量下限値の1/2を乗じた値を計算に用いた。

3-4 過年度における農薬の検出状況

今年度の調査対象となっている農薬について、後作物における残留農薬の検出状況は表 3-11～表 3-22 に整理したとおりである。

平成 23 年度調査において残留基準値を超過する事例が 1 件確認されており、最終処理（ネマトリンエース粒剤 20kg/10a 散布後に土壌混和）から 52 日後に収穫されたシュンギクのアゼートの残留濃度（0.48mg/kg）が残留基準値（0.1 mg/kg）を超過していた（表 3-18(1)参照）。

表 3-11(1) アセタミプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H24	岐阜県農 業技術セ ンター	モスピラン粒剤 (2.0%) 6kg/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 57 日)	白盃	-	上 0.26 下 0.10	根 <0.01 葉 0.02	根 0.1 葉 5
				カブ(遅延区) (薬剤処理 154 日)	白盃	-	上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 37 日)	コメット	-	上 0.26 下 0.20	根 <0.01 葉 0.14	根 0.2 葉 5
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 107 日)	コメット	-	上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01	
H24	山口県農 林総合技 術センター	モスピラン水溶 剤 (20.0%) 2000 倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 52 日)	耐病 ひかり	-	上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.1 葉 5
				カブ(遅延区) (薬剤処理 92 日)	耐病 ひかり	-	上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 120 日)	向陽 二号	-	上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.01 (一律基準) 葉 0.01 ^{※5} (一律基準)
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 181 日)	向陽 二号	-	上 <0.01 下 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01	
H23	熊本県 農業研究 センター	モスピラン水和 剤 (20%) 2,000 倍 300L/10a	なし	ホウレンソウ(早期区) (薬剤処理 40 日)	アトラス	0.55	上 0.27 下 0.67	<0.01 (n.d.)	3
				ホウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 63 日)	アトラス		上 0.09 下 0.07	<0.01 (n.d.)	
				コマツナ(早期区) (薬剤処理 40 日)	楽天		上 0.27 下 0.67	<0.01 (n.d.)	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 55 日)	楽天		上 0.09 下 0.07	<0.01 (n.d.)	
				コネギ(早期区) (薬剤処理 80 日)	鴨頭ねぎ		上 0.27 下 0.67	<0.01 (n.d.)	4.5
				コネギ(遅延区) (薬剤処理 104 日)	鴨頭ねぎ		上 0.09 下 0.07	<0.01 (n.d.)	
H23	香川県農 業試験場	モスピラン水和 剤 (20%) 2,000 倍 300L/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理 32 日)	楽天	0.68	0.03	<0.01 (0.002)	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 92 日)	楽天		<0.01 (0.001)	<0.01	
				チンゲンサイ(早期区) (薬剤処理 37 日)	青帝		0.03	<0.01 (n.d.)	5
				チンゲンサイ(遅延区) (薬剤処理 98 日)	青帝		<0.01 (0.001)	<0.01 (n.d.)	
				ホウレンソウ(早期区) (薬剤処理 42 日)	おかめ		0.03	<0.01 (n.d.)	3
				ホウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 108 日)	おかめ		<0.01 (0.001)	<0.01 (n.d.)	

表 3-11(2) アセタミプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H23	山口県農 林総合技 術センタ ー	モスピラン水溶 剤(20%) 2,000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理43日)	パンドラ	0.53	上 0.48 下 0.15	<0.01 (n.d.)	3
H23	奈良県 農業総合 センター	モスピラン粒剤 (2%) 6kg/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理43日)	夏楽天	上 1.08 下 <0.01	上 0.04 下 <0.01(0.002)	<0.01 (nd)	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理97日)	夏楽天		上 <0.01(nd) 下 <0.01(nd)	<0.01 (nd)	
				ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理76日)	デュエル		上 0.04 下 <0.01(0.002)	<0.01 (nd)	3
				ハウレンソウ(遅延区) (薬剤処理152日)	デュエル		上 <0.01(nd) 下 <0.01(nd)	<0.01 (nd)	
				コネギ(早期区) (薬剤処理110日)	小夏		上 0.04 下 <0.01(0.002)	<0.01 (nd)	4.5 ^{**5}
				コネギ(遅延区) (薬剤処理159日)	小夏		上 <0.01(nd) 下 <0.01(nd)	<0.01 (nd)	
H23	大阪府 環境農林 水産総合 研究所	モスピラン粒剤 (2%) 6kg/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理42日)	ひとみ	-	0.76	0.78	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理89日)	ひとみ	-	<0.01	<0.05	
				シロナ(早期区) (薬剤処理42日)	しらさぎ菜	-	0.76	0.25	0.5 ^{**5}
				シロナ(遅延区) (薬剤処理89日)	しらさぎ菜	-	<0.01	<0.05	
				シュンギク(早期区) (薬剤処理51日)	菊次郎	-	0.76	0.36	5
				シュンギク(遅延区) (薬剤処理105日)	菊次郎	-	<0.01	<0.05	
				小カブ(根)(早期区) (薬剤処理56日)	耐病 ひかり	2.39	上 1.67 下 0.04	<0.01 (n.d.)	
小カブ(根)(遅延区) (薬剤処理133日)	耐病 ひかり	上 0.49 下 <0.01	<0.01 (n.d.)						
小カブ(葉)(早期区) (薬剤処理56日)	耐病 ひかり	上 1.67 下 0.04	<0.01 (n.d.)						
小カブ(葉)(遅延区) (薬剤処理133日)	耐病 ひかり	上 0.49 下 <0.01	<0.01 (n.d.)						
ニンジン(早期区) (薬剤処理125日)	真紅金時	上 1.67 下 0.04	<0.01 (n.d.)	根 0.01 (一律基準)					
ニンジン(遅延区) (薬剤処理213日)	真紅金時	上 0.49 下 <0.01	<0.01 (n.d.)	葉 0.01 ^{**5} (一律基準)					
H23	長野県農 業試験場	モスピラン粒剤 (2%) 6kg/10a	なし	ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理56日)	オータム		上 0.74 下 0.06	上 0.19 下 0.08	<0.01(n.d.)
				ハウレンソウ(遅延区) (薬剤処理125日)	オータム	上 0.03 下 0.03		<0.01(n.d.)	
				コマツナ(早期区) (薬剤処理40日)	照彩	上 0.03 下 0.03		<0.01(n.d.)	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理125日)	照彩	上 0.14 下 0.03		<0.01(n.d.)	
				リーフレタス(早期区) (薬剤処理55日)	アーリー インパルス	上 0.14 下 0.03		<0.01(n.d.)	5 ^{**5}
				リーフレタス(遅延区) (薬剤処理117日)	アーリー インパルス	<0.01(n.d.)		<0.01(n.d.)	

表 3-11(3) アセタミプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H23	東京都農 林総合研 究センタ ー	モスピラン粒剤 (2%) 6kg/10a	なし	ダイコン(早期区) (薬剤処理 71 日)	夏みの 早生三号	1.45	0.21	<0.01(n.d.)	根 0.2 葉 5
				ダイコン(遅延区) (薬剤処理 122 日)	夏みの 早生三号	0.54	0.09	<0.01(n.d.)	
				カブ(根)(早期区) (薬剤処理 57 日)	白馬	0.68	0.31	<0.01(n.d.)	根 0.1 葉 5
				カブ(根)(遅延区) (薬剤処理 98 日)	白馬	0.06	0.04	<0.01(n.d.)	
				カブ(葉)(早期区) (薬剤処理 57 日)	白馬	0.68	0.31	0.01	
				カブ(葉)(遅延区) (薬剤処理 98 日)	白馬	0.06	0.04	<0.01(n.d.)	
				H23	埼玉県農 林総合研 究センタ ー	モスピラン粒剤 (3%) 6kg/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理 14 日)	夏楽天
コマツナ(遅延区) (薬剤処理 60 日)	夏楽天	<0.005(n.d.)							
ホウレンソウ(早期区) (薬剤処理 14 日)	強力オーライ	0.239	<0.005(n.d.)					3	
ホウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 60 日)	強力オーライ	0.012	<0.005(n.d.)						
シュンギク(早期区) (薬剤処理 14 日)	大場春菊	0.239	<0.005(n.d.)					5	
シュンギク(遅延区) (薬剤処理 60 日)	大場春菊	0.012	<0.005(n.d.)						
H23	宮城県農 業・園芸 総合研究 所	モスピラン粒剤 (2%) 6kg/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理 42 日)	なかまち	0.82	0.99	0.04	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 62 日)	なかまち		0.71	<0.01	
				ミズナ(早期区) (薬剤処理 43 日)	京みぞれ	0.99	0.08	5**5	
				ミズナ(遅延区) (薬剤処理 78 日)	京みぞれ	0.71	0.01		
				ホウレンソウ(早期区) (薬剤処理 52 日)	スーパー アリーナ	0.99	<0.01	3	
				ホウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 78 日)	スーパー アリーナ	0.71	<0.01		
H22	兵庫県農 林水産 技術総合 センター	モスピラン粒 剤 (2%) 3 kg/10a	なし	コマツナ 施設	楽天	0.6	0.1	<0.01	5
				ホウレンソウ 施設	サマードリー ム法連草	0.6	0.2	<0.01	5**2
				シュンギク 施設	株張中葉	0.6	0.1	<0.01	5
H22	大阪府環 境農林水 産総合研 究所	モスピラン水 溶剤 (20%) 1000 倍 300L/10a	なし	コマツナ 施設	ひとみ	0.5	1.1	<0.01	5
				シュンギク 施設	菊次郎	0.8	0.7	<0.01	5
H22	長野県農 業試験場	モスピラン粒 剤 (2%) 3kg/10a	なし	コマツナ 露地	照彩	0.03	<0.01	<0.01	5
				ホウレンソウ 露地	日本ほうれ ん草			<0.01	5**2
H22	東京都農 林総合研 究センタ ー	モスピラン水 溶剤 (20%) 2000 倍 300L/10a	なし	コマツナ 露地	夏楽天	0.46	0.31	<0.01	5
				コカブ 露地	スワン	0.44	0.27	葉 0.01 根 <0.01	葉 5**5 根 0.1**5
H22	埼玉県農 林総合研 究センタ ー	モスピラン粒 剤 (2%) 3kg/10a	なし	シュンギク トンネル栽培	おきく 3 号	0.43*	0.03*	<0.01*	5
				非結球レタス トンネル栽培	リバーグリーン	0.39*	0.02*	<0.01*	5**5

表 3-11(4) アセタミプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H21	香川県農 業試験場	モスピラン粒 剤+水溶剤 (3%+20%) 6kg/10a + 2000 倍 300L/10a	ネ ギ	コマツナ 施設 (早期区)	楽天	4.45	0.07	0.016	5
				コマツナ 施設 (遅延区)	楽天	4.45	0.07	0.012	
H21	宮城県農 業・園芸 総合研究 所	モスピラン粒 剤 (2%) 3kg/10a	コ マ ツ ナ	ミズナ	京みぞれ	0.57	0.03	<0.01	5**5
H21	青森県 農林総合 研究セン ター	モスピラン水 溶剤 (20%) 8000 倍 300L/10a	ホ ウ レ ン ソ ウ	コマツナ 施設	河北 小松菜	0.15	0.04	<0.01	5
H20	奈良県農 業総合セ ンター	モスピラン水 溶剤(20%) 8000 倍 300 L/10a	シ ロ ナ	ハウレンソウ 施設(早期区)	アップ ライト	0.03	0.01	<0.01	5**2
				ハウレンソウ 施設(遅延区)	アップ ライト	0.03	<0.01	<0.01	
H20	京都府農 業総合研 究所	モスピラン粒 剤 (2%) 6kg/10a	ネ ギ	コマツナ(耕起区)	楽天	0.34	0.09	<0.01	5
				コマツナ(不耕起)	楽天			<0.01	
				ミズナ(耕起区)	京みぞれ			<0.01	5
				ミズナ(不耕起)	京みぞれ			<0.01	5
				ハタケナ(耕起区)	白茎畑菜			<0.01	5
H19	埼玉県農 林総合研 究センタ ー	モスピラン粒 剤 (2%) 3kg/10a	コ マ ツ ナ	ハウレンソウ	パンドラ	3.61	0.04	<0.02	5**2
H19	宮城県農 業・園芸 総合研究 所	モスピラン水 溶剤 (20%) 8000 倍 300L/10a	ホ ウ レ ン ソ ウ	コマツナ	まさみ	<0.02		<0.02	5
H18	高知県農 業技術セ ンター	モスピラン粒 剤(2%) 1.38 kg/10a モスピラン水 和剤(20%) 2000 倍×3 回 300L/10a	キ ュ ウ リ	ナス	春鈴	-	0.26	<0.01	5**2
H18	香川県農 業試験場	アセタミプリ ド粒剤 120g/10a	ネ ギ	リーフレタス	グリーン ウェーブ	-	0.21	<0.005	5
H18	兵庫県農 林水産技 術総合セ ンター	アセタミプリ ド粒剤 312g/10a	チ ン ゲ ン サ イ	シュンギク	中葉株張	-	0.15	<0.02	5
				コマツナ	みなみ	-	0.15	<0.02	5

表 3-11(5) アセタミプリドの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H18	長野県農業総合試験場	アセタミプリド粒剤 92.3g/10a	キャベツ	チンゲンサイ	青梗パク チヨイ	-	0.01	<0.01	5
H17	長崎県総合農業試験場	粒剤	非結球レタス	なし		-	n.d. (31日後)	—	3 ^{※5}
		水溶剤		なし		-	n.d.	—	
H17	香川県農業試験場	粒剤	キャベツ	なし		-	8(56日後)	—	3
		水溶剤		なし		-	0.02 (42日後)	—	
H17	山口県農林総合技術センター	粒剤	キャベツ	なし		-	6.6 (76日後)	—	3
		水溶剤		なし		-	0.03 (28日後)	—	
H17	兵庫県農林水産技術総合センター	粒剤	チンゲンサイ	なし		-	3.12 (56日後)	—	5
		水溶剤		なし		低濃度	—	—	
H17	宮城県農業・園芸総合研究所	粒剤	ハクサイ	なし		n.d.	—	0.5	
		水溶剤		なし		n.d.	—	—	

※1：作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※2：土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

※3：供試作物の作付処理区について、早期区：早期作付処理区、遅延区：遅延作付処理区を示す。

※4：供試作物の薬剤処理について、薬剤処理：収穫時の最終農薬処理後経過日数

※5：非結球レタス、リーフレタスは「レタス」、シロナは「はくさい」、コネギは「ネギ」、コカブは「カブ」、にんじん(葉)は「その他のセリ科の野菜」、ミズナは「その他のあぶらな科の野菜」の残留基準値を参照している。

*：参考データ

表 3-12 クロチアニジンの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H24	京都府農林 水産技術セ ンター	ダントツ水溶剤 (16%) 2000 倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 45 日)	耐病ひかり	-	上 0.92 下 0.21	根 <0.01 葉 0.04	根 0.02 葉 0.02
				カブ(遅延区) (薬剤処理 125 日)	耐病ひかり	-	上 0.87 下 0.11	根 <0.01 葉 <0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 134 日)	真紅金時	-	上 0.92 下 0.21	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.02 葉 2 ^{**3}
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 190 日)	真紅金時	-	上 0.87 下 0.11	根 <0.01 葉 <0.01	
H24	兵庫県立農 林水産技術 総合センター	ダントツ水溶剤 (16%) 2000 倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 49 日)	CRもちばな	-	上 0.320 下 <0.005	根 <0.01 葉 0.05	根 0.02 葉 0.02
				カブ(遅延区) (薬剤処理 103 日)	CRもちばな	-	上 0.154 下 0.007	根 <0.01 葉 0.04	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 117 日)	向陽二号	-	上 0.192 下 <0.005 0.005	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.02 葉 2 ^{**3}
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 175 日)	向陽二号	-	上 0.143 下 <0.005 0.007	根 <0.01 葉 <0.01	
H24	徳島県立農 林水産総合 技術支援セ ンター農業研 究所	ダントツ水溶剤 (16%) 2000 倍 300L/10a	なし	カブ(シルト質植壊土)(早 期区)(薬剤処理 46 日)	CRもちばな	-	上 0.17 下 0.12	根 0.02 葉 0.07	根 0.02 葉 0.02
				カブ(シルト質植壊土)(遅 延区)(薬剤処理 96 日)	CRもちばな	-	上 0.05 下 0.04	根 <0.02 葉 <0.02	
				カブ(砂土)(早期区) (薬剤処理 46 日)	CRもちばな	-	上 0.25 下 0.14	根 0.04 葉 0.12	根 0.02 葉 0.02
				カブ(砂土)(遅延区) (薬剤処理 74 日)	CRもちばな	-	上 0.06 下 0.06	根 0.02 葉 0.06	
H22	高知県農業 技術センター	ダントツ水溶剤 (16%) 2000 倍×3 回 300L/10a	なし	コマツナ 露地	夏楽天	0.76	0.28	0.049	1
				チンゲンサイ 露地	長陽			0.017	5
				ハウレンソウ 露地	ニューアンナ R4			0.064	3
H22	徳島県立農 林水産総合 技術支援セ ンター農業研 究所	ダントツ水溶剤 (16%) 2000 倍 300L/10a	なし	コマツナ 露地	はっけい	0.52	0.21	0.06	1
				チンゲンサイ 露地	青冴			0.04	5
				ハウレンソウ 露地	ビジョン			0.15	3
H21	高知県農業 技術センター	ダントツ粒剤 (0.5%) 2,222 kg/10a ダントツ水和剤 (20%) 2000 倍×3 回 300L/10a	キュウ ウリ	コマツナ 施設	夏楽天	1.2	0.59	0.051	0.5 ^{**4}
H19	香川県 農業試験場	ダントツ粒剤 (0.5%) 6kg/10a	ネギ	ハウレンソウ	強力オーライ	0.8	0.08	0.01	0.02
H19	奈良県農業 総合センター	ダントツ粒剤 (0.5%) 6kg/10a	ネギ	コマツナ	楽天	0.56	0.07	<0.01	0.5
				ミズナ	シャキサラ 水菜			<0.01	5
				シュンギク	株張り中 葉新菊			<0.01	0.02
H18	奈良県農業 総合センター	クロチアニジン 粒剤 6kg/10a	ネギ	シュンギク	株張り中 葉新菊		0.38	0.21	0.02

※1：作付け時土壌濃度について、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

※2：作付け時土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

※3：リーフレタスは「レタス」、コネギは「ネギ」、にんじん(葉)は「その他のせり科の野菜」の残留基準値を参照している。

表 3-13(1) ジノテフランの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)					
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終散布 処理後濃度			作付け時 (は種時) 濃度				
H24	愛知県農業総合試験場	アルバリン顆粒水溶剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 43日)	耐病ひかり	-	0.62	根 0.04 葉 0.20	根 0.5 葉 5				
				カブ(遅延区) (薬剤処理 160日)	耐病ひかり		0.08	根 <0.01 葉 0.02					
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 29日)	コメット		0.28	根 0.10 葉 0.54	根 0.5 葉 10				
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 119日)	コメット		0.04	根 0.02 葉 0.20					
		アルバリン顆粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 50日)	耐病ひかり		0.51	根 0.02 葉 0.14	根 0.5 葉 5				
				カブ(遅延区) (薬剤処理 167日)	耐病ひかり		0.04	根 0.01 葉 0.03					
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 36日)	コメット		0.48	根 0.10 葉 0.88	根 0.5 葉 10				
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 126日)	コメット		0.09	根 0.02 葉 0.30					
H24	京都府農林水産技術センター	スタークル顆粒水溶剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 45日)	耐病ひかり		上 0.92 下 0.50	根 <0.01 葉 0.04	根 0.5 葉 5				
				カブ(遅延区) (薬剤処理 125日)	耐病ひかり		上 0.88 下 0.21	根 <0.01 葉 0.02					
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 134日)	真紅金時		上 0.92 下 0.50	根 <0.01 葉 0.01	根 1 葉 5 ^{**4}				
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 190日)	真紅金時		上 0.88 下 0.21	根 <0.01 葉 <0.01					
				H24	山口県農林総合技術センター	スタークル水溶剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 52日)	耐病ひかり		上 0.13 下 0.16	根<0.01(0.008) 葉 0.04	根 0.5 葉 5
								カブ(遅延区) (薬剤処理 92日)	耐病ひかり		上 <0.01 下 <0.01	根<0.01 葉<0.01(0.007)	
ニンジン(早期区) (薬剤処理 120日)	向陽二号		上 0.13 下 0.16					根<0.01(0.005) 葉 0.03	根 1 葉 5 ^{**4}				
ニンジン(遅延区) (薬剤処理 181日)	向陽二号		上 <0.01 下 <0.01					根 <0.01 葉 <0.008 (0.004)					
H24	香川県農業試験場	アルバリン顆粒水溶剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 58日)	たかね		0.14	根 <0.01 葉 0.02	根 0.5 葉 5				
				カブ(遅延区) (薬剤処理 99日)	たかね		<0.01	根 <0.01 葉 <0.01					
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 47日)	コメット		0.14	根 0.01 葉 0.05	根 0.5 葉 3 ^{**4}				
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 89日)	コメット		<0.01	根 <0.01 葉 0.01					

表 3-13 (2) ジノテフランの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H23	高知県 農業技術 センター	スタークル粒 剤(20%) 2,000倍 300L/10a	なし	カブ(葉)(早期区) (薬剤処理 56日)	スワン	0.82	上 0.21 下 0.26	0.02	根 0.5 葉 5
				カブ(葉)(遅延区) (薬剤処理 92日)	スワン		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.008)	
				カブ(根)(早期区) (薬剤処理 56日)	スワン		上 0.21 下 0.26	<0.01 (0.006)	
				カブ(根)(遅延区) (薬剤処理 92日)	スワン		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.001)	
				ニンジン(葉)(早期区) (薬剤処理 85日)	向陽 二号		上 0.21 下 0.26	0.02	根 0.7 葉 5 ^{**4}
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 125日)	向陽 二号		上 0.03 下 0.06	0.01	
				ニンジン(根)(早期区) (薬剤処 85日)	向陽 二号		上 0.21 下 0.26	<0.01 (0.003)	
				ニンジン(根)(遅延区) (薬剤処理 125日)	向陽 二号		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.003)	
				コマツナ(早期区) (薬剤処理 41日)	夏楽天		上 0.21 下 0.26	0.03	5 ^{**3}
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 74日)	夏楽天		上 0.03 下 0.06	<0.01 (0.006)	
		スタークル粒 剤 (1%) 6kg/10a	なし	カブ(葉)(早期区) (薬剤処理 56日)	スワン	1.2	上 0.25 下 0.28	0.05	根 0.5 葉 5
				カブ(葉)(遅延区) (薬剤処理 92日)	スワン		上 0.06 下 0.14	0.01	
				カブ(根)(早期区) (薬剤処理 56日)	スワン		上 0.25 下 0.28	0.01	
				カブ(根)(遅延区) (薬剤処理 92日)	スワン		上 0.06 下 0.14	<0.01(0.005)	
				ニンジン(葉)(早期区) (薬剤処理 85日)	向陽 二号		上 0.25 下 0.28	0.03	根 0.7 葉 5 ^{**4}
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 125日)	向陽 二号		上 0.06 下 0.14	0.02	
				ニンジン(根)(早期区) (薬剤処 85日)	向陽 二号		上 0.25 下 0.28	<0.01(0.006)	
				ニンジン(根)(遅延区) (薬剤処理 125日)	向陽 二号		上 0.06 下 0.14	<0.01(0.004)	
				コマツナ(早期区) (薬剤処理 41日)	夏楽天		上 0.25 下 0.28	0.06	5 ^{**3}
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 74日)	夏楽天		上 0.06 下 0.14	<0.01(0.007)	
H23	香川県農 業試験場	アルハ'リン顆 粒水和剤 (20%) 2,000倍 300L/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理 32日)	楽天	0.78	0.16	0.18	5 ^{**3}
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 92日)	楽天		<0.01(0.003)	0.02	
				チンゲンサイ(早期区) (薬剤処理 37日)	青帝		0.16	0.12	10
				チンゲンサイ(遅延区) (薬剤処理 98日)	青帝		<0.01(0.003)	0.01	
				ホウレンソウ(早期区) (薬剤処理 42日)	おかめ		0.16	0.08	15
				ホウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 108日)	おかめ		<0.01(0.003)	<0.01(0.004)	

表 3-13 (3) ジノテフランの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	前作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H23	大阪府 環境農林 水産総合 研究所	アルハリン粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理 42 日)	ひとみ	-	0.51	0.14	5 ^{※3}
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 89 日)	ひとみ	-	<0.01	<0.05	
				シロナ(早期区) (薬剤処理 42 日)	しらさぎ菜	-	0.51	<0.05	5 ^{※3}
				シロナ(遅延区) (薬剤処理 89 日)	しらさぎ菜	-	<0.01	<0.05	
				シュンギク(早期区) (薬剤処理 51 日)	菊次郎	-	0.51	0.11	20
				シュンギク(遅延区) (薬剤処理 105 日)	菊次郎	-	<0.01	<0.05	
				H23	京都府農 林水産技 術センター	スタークル粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	小カブ(根)(早期区) (薬剤処理 56 日)	耐病ひかり
小カブ(根)(遅延区) (薬剤処理 133 日)	耐病ひかり	上 0.36 下 0.01, <0.01 (0.007)	<0.01 (0.007)						
小カブ(葉)(早期区) (薬剤処理 56 日)	耐病ひかり	上 0.59 下 0.09	0.05						
小カブ(葉)(遅延区) (薬剤処理 133 日)	耐病ひかり	上 0.36 下 0.01, <0.01 (0.007)	0.02						
ニンジン(早期区) (薬剤処理 125 日)	真紅金時	上 0.59 下 0.09	0.01, <0.01					葉 5 根 0.7 ^{※4}	
ニンジン(遅延区)(薬剤処 理 213 日)	真紅金時	上 0.36 下 0.01, <0.01 (0.007)	<0.01						
ホウレンソウ(早期区)(薬 剤処理 49 日)		-	上 0.08 下 0.07						0.12
ホウレンソウ(遅延区)(薬 剤処理 78 日)		-	上 0.04 下 0.04	0.03					
H23	岐阜県 農業技術 センター	スタークル粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	カブ(葉)(早期区)(薬剤 処理 63 日)		-	上 0.08 下 0.07	0.06	根 0.5 葉 5
				カブ(葉)(遅延区)(薬剤 処理 93 日)		-	上 0.04 下 0.04	0.02	
				カブ(根)(早期区)(薬剤 処理 63 日)		-	上 0.08 下 0.07	0.01, <0.01	
				カブ(根)(遅延区)(薬剤 処理 93 日)		-	上 0.04 下 0.04	<0.01	
				ダイコン(葉)(早期区)(薬 剤処理 77 日)		-	上 0.08 下 0.07	0.03	根 0.5 葉 3
				ダイコン(葉)(遅延区)(薬 剤処理 105 日)		-	上 0.04 下 0.04	0.02	
				ダイコン(根)(早期区)(薬 剤処理 77 日)		-	上 0.08 下 0.07	0.01	
				ダイコン(根)(遅延区)(薬 剤処理 105 日)		-	上 0.04 下 0.04	<0.01	

表 3-13(4) ジノテフランの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	前 作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H23	宮城県農業・園芸総合研究所	スタークル粒剤 (1%) 6kg/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理 42 日)	なかまち	0.31	0.24	<0.02	5 ^{**3}
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 62 日)	なかまち		0.27	<0.02	
				ミズナ(早期区) (薬剤処理 43 日)	京みぞれ		0.24	0.03	5 ^{**4}
				ミズナ(遅延区) (薬剤処理 78 日)	京みぞれ		0.27	0.03	
				ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理 52 日)	スーパー アリーナ		0.24	<0.02	15
				ハウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 78 日)	スーパー アリーナ		0.27	<0.02	
H22	熊本県農業研究センター	スタークル顆粒水 溶剤(20%)2000 倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ 露地	アトラス	0.90	0.50	0.04	15
				コマツナ 露地	楽天	0.90	0.29	0.05	5 ^{**2}
				非結球レタス 露地	晩抽レッド ファイアー	1.09	0.49	0.07	5 ^{**2}
H22	山口県農林総合技術センター	アルバリン顆粒水 溶剤(20%)2000 倍 300L/10a	なし	コマツナ	夏楽天	0.37	0.74	0.52	5 ^{**2}
				リーフレタス	レッド ファイヤーW	0.48	0.68	0.39	5 ^{**2}
H21	日本植物防疫協会	スタークル粒剤 (1.0%) 9kg/10a	裸 地	コマツナ 露地 (薬剤処理 30 日)	楽天	4.99	0.04	0.08	5 ^{**2}
				コマツナ 露地 (薬剤処理 58 日)	楽天	4.99	<0.01	0.06	
				コマツナ 露地 (薬剤処理 90 日)	楽天	4.99	<0.01	0.04	
				カブ 露地 (薬剤処理 30 日)	スワン	4.99	0.02	葉 0.28 根 0.06	葉 5 根 0.5
				カブ 露地 (薬剤処理 58 日)	スワン	4.99	<0.01	葉 0.12 根 0.03	
				カブ 露地 (薬剤処理 90 日)	スワン	4.99	<0.01	葉 0.04 根 0.02	
H21	熊本県農業研究センター	スタークル顆粒水 溶剤 (20%) 400 倍 0.4L/m ² +2000 倍 300L /10a	コ ネ ギ	ハウレンソウ施設 (薬剤処理 10 日)	アトラス	4.33	1.22	0.18	15
				ハウレンソウ施設 (薬剤処理 17 日)	アトラス	4.33	1.33	0.2	
H20	日本植物防疫協会	スタークル粒剤 (1.0%) 6kg/10a	裸 地	ハウレンソウ (薬剤処理 14 日)	オーライ	1.96	0.1	0.04	15
				ハウレンソウ (薬剤処理 28 日)	オーライ	1.96	0.05	0.02	
				ハウレンソウ (薬剤処理 42 日)	オーライ	1.96	0.04	0.01	
				ハウレンソウ (薬剤処理 58 日)	オーライ	1.96	0.02	<0.01	
H20	徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所	スタークル粒剤 (1.0%) 6kg/10a	コマツナ	ハウレンソウ	タキソード 7	0.44	0.01	<0.02	15

表 3-13 (5) ジノテフランの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	前 作物	供試作物	品 種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H19	日本植物 防疫協会	スタークル粒剤 (1.0%) 1g/株	ピー マン	ハウレンソウ (耕起区)	マグワイヤー	0.46	0.67	0.02	15
				ハウレンソウ (不耕起)	マグワイヤー	0.34	0.75	0.04	
H19	兵庫県 農林水産 技術総合 センター	スタークル粒剤 (1.0%) 6kg/10a	コマ ツナ	ネギ	小夏	0.346	0.021	<0.01	5 ^{※3}

※1：作付け時土壌濃度について、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

※2：作付け時土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

※3：平成24年4月26日告示により、現在の基準値は10(こまつな)、25(レタス(サラダ菜及びちしやを含む。))、15(ねぎ(リーキを含む。))である。

※4：ニンジン(葉)は「その他のせり科の野菜」、ミズナは「その他のあぶらな科の野菜」、非結球レタスおよびリーフレタスは「レタス」の残留農薬基準値を参照した。

表 3-14 トリクロホスメチルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H24	大阪府立 環境農林 水産総合 研究所	リゾレックス水和剤 (50.0%) 500 倍 3L/m ²	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 63 日)	耐病ひかり	-	上 19.82 下 13.74	根 0.06 葉 <0.01	根 2.0 葉 2.0
				カブ(遅延区) (薬剤処理 128 日)	耐病ひかり	-	上 0.28 下 0.16	根 <0.01 葉 <0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 105 日)	時無五寸	-	上 19.82 下 13.74	根 0.14 葉 0.02	根 2.0 葉 2.0 ^{*3}
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 156 日)	時無五寸	-	上 0.28 下 0.16	根 0.01 葉 <0.01	
H24	高知県農 業技術セ ンター	リゾレックス水和剤 (50.0%) 500 倍 3L/m ²	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 49 日)	スワン	-	上 10.2 下 11.0	根 0.02 葉 <0.01	根 2.0 葉 2.0
				カブ(遅延区) (薬剤処理 123 日)	スワン	-	上 4.0 下 3.8	根 <0.01 葉 <0.01	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 32 日)	コメット	-	上 10.2 下 11.0	根 0.04 葉 0.01	根 2.0 葉 2.0
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 106 日)	コメット	-	上 4.0 下 3.8	根 <0.01 葉 <0.01	
H23	千葉県農 林総合研 究センタ ー	リゾレックス水和剤 (50.0%) 500 倍 3L/m ²	なし	ハツカダイコン(葉)(早 期区)(薬剤処理 40 日)	ほほべに丸	-	上 15.2 下 5.80	<0.01 (<0.002)	根 2 葉 2
				ハツカダイコン(葉)(遅 延区)(薬剤処理 91 日)	レッド チャイム	-	上 0.736 下 0.882	<0.01 (<0.002)	
				ハツカダイコン(根)(早 期区)(薬剤処理 40 日)	ほほべに丸	-	上 15.2 下 5.80	0.010	
				ハツカダイコン(根)(遅 延区)(薬剤処理 91 日)	レッド チャイム	-	上 0.736 下 0.882	<0.005 (<0.001)	
				コカブ(葉)(遅延区) (薬剤処理 48 日)	夏の雪	-	上 15.2 下 5.80	<0.01 (<0.002)	根 2 葉 2
				コカブ(根)(早期区) (薬剤処理 102 日)	CR 白涼	-	上 0.736 下 0.882	<0.01 (<0.002)	
				コカブ(根)(早期区) (薬剤処理 48 日)	夏の雪	-	上 15.2 下 5.80	<0.005 (0.004)	
				コカブ(根)(遅延区) (薬剤処理 102 日)	CR 白涼	-	上 0.736 下 0.882	<0.005	
H22	兵庫県 農林水産 技術総合 センター	リゾレックス粉剤 (5%) 40kg/10a	なし	コマツナ	楽天	9.8	1.0	<0.01	2
				ハウレンソウ	サマードリー ム法連草	24.4	5.9	<0.01	2
				シュンギク	株張中葉	9.8	7.7	0.02~0.04	2
H20	日本植物 防疫協会	リゾレックス水和剤 (50%) 1000 倍 3L/m ²	裸地	ハウレンソウ (薬剤処理 14 日)	オーライ	46.7	3.34	<0.01	2
				ハウレンソウ (薬剤処理 28 日)	オーライ	46.7	0.51	<0.01	
				ハウレンソウ (薬剤処理 42 日)	オーライ	46.7	0.14	<0.01	
				ハウレンソウ (薬剤処理 58 日)	オーライ	46.7	0.06	<0.01	
H19	日本植物 防疫協会	リゾレックス水和剤 (50%) 1000 倍 1L/株	ピーマン	ハウレンソウ(耕起区)	マグワイヤー	16.8	15.8	0.04	2
				ハウレンソウ(不耕起)	マグワイヤー	13.5	28.0	0.16	

表 3-15 フルトラニルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処 理量	前 作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H24	兵庫県立 農林水産 技術総合 センター	モンカットフロ アブル 40 (40%) 1000 倍 3L/10a	なし	コカブ(早期区)	CRもち	-	上 1.614	根 <0.01	根 0.01 (一律基準)
				(薬剤処理 49 日)	ばな		下 0.018	葉 <0.01	
				コカブ(遅延区)	CRもち	-	上 1.072	根 <0.01	葉 0.01 (一律基準)
				(薬剤処理 103 日)	ばな		下 0.006	葉 <0.01	
ニンジン(早期区)	向陽二号	-	上 1.406	根 0.04	根 0.01 (一律基準)				
(薬剤処理 117 日)			下 0.007	葉 0.02					
ニンジン(遅延区)	向陽二号	-	上 0.905	根 0.01	葉 0.01 ^{※2} (一律基準)				
(薬剤処理 175 日)			下 <0.005,0.007	葉 0.02					
H23	栃木県農 業試験場	モンカットフ ロアブル40 (40%) 1,000 倍 300L/10a	なし	シュンギク(早期区)			上 1.64	0.02	0.01
				(薬剤処理 74 日)			下 1.05		
				シュンギク(遅延区)			上 1.20	0.05	0.01
				(薬剤処理 161 日)			下 1.00		
				ミズナ(早期区)			上 2.30	<0.01	0.01
				(薬剤処理 54 日)			下 1.86		
ミズナ(遅延区)			上 1.74	0.01	2				
(薬剤処理 161 日)			下 1.21						
ホウレンソウ(早期区)			上 2.08	<0.01	0.01				
(薬剤処理 84 日)			下 1.36						
ホウレンソウ(遅延区)			上 1.28	0.01					
(薬剤処理 161 日)			下 1.07						
H20	日本植物 防疫協会	モンカットフロ アブル 40 (40%) 1000 倍 3L/m ²	裸 地	ホウレンソウ	オーライ	20.6	8.84	0.02	2
				(薬剤処理 14 日)					
				ホウレンソウ	オーライ	20.6	6.97	0.04	
				(薬剤処理 28 日)					
ホウレンソウ	オーライ	20.6	7.23	0.04	0.02				
(薬剤処理 42 日)									
ホウレンソウ	オーライ	20.6	4.7	0.02					
(薬剤処理 58 日)									
H19	日本植物 防疫協会	モンカットフロ アブル 40 (40%)1000 倍 1L/株	ピー マン	ホウレンソウ	マグワイヤー	54.5	60.2	0.09	2
				(耕起区)					
ホウレンソウ	マグワイヤー	49.0	72.6	0.25					
(不耕起)									

※1：後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す。

表 3-16 (1) プロシミドンの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終 散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H24	岐阜県 農業技 術センタ ー	スレックス水和 剤(50%) 1000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 50 日)	白盃	-	上 1.46 下 1.46	根 0.18 葉 1.20	根 0.5 葉 5
				カブ(遅延区) (薬剤処理 163 日)	白盃	-	上 0.78 下 0.84	根 0.01 葉 0.04	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 30 日)	コメット	-	上 1.46 下 1.46	根 0.48 葉 4.10	根 0.5 葉 5
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 113 日)	コメット	-	上 0.78 下 0.84	根 <0.01 葉 <0.01	
H24	大阪府 立環境 農林水 産総合 研究所	スレックス水和 剤(50%) 1000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 63 日)	耐病ひかり	-	上 3.33 下 2.58	根 0.26 葉 0.94	根 0.5 葉 5
				カブ(遅延区) (薬剤処理 128 日)	耐病ひかり	-	上 0.20 下 0.06	根 <0.01 葉 0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 105 日)	時無五寸	-	上 3.33 下 2.58	根 0.42 葉 0.22	根 0.5 葉 5 ^{**3}
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 156 日)	時無五寸	-	上 0.20 下 0.06	根 0.01 葉 0.01	
H24	兵庫県 立農林 水産技 術総合 センター	スレックス水和 剤(50%) 1000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 49 日)	CRもちばな	-	上 2.060 下 0.024	根 0.01 葉 0.17	根 0.5 葉 5
				カブ(遅延区) (薬剤処理 103 日)	CRもちばな	-	上 1.472 下 0.012	根 <0.01 葉 0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 117 日)	向陽二号	-	上 1.822 下 0.009	根 0.01 葉 0.02	根 0.5 葉 5 ^{**3}
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 175 日)	向陽二号	-	上 1.166 下 0.008	根 <0.01 葉 <0.01	
H24	奈良県 農業総 合センタ ー	スレックス水和 剤(50%) 1000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 50 日)	耐病ひかり	-	上 1.41 下 0.14	根 0.14 葉 0.26	根 0.5 葉 5
				カブ(遅延区) (薬剤処理 105 日)	耐病ひかり	-	上 1.96 下 0.01,<0.01	根 0.08 葉 0.32	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 50 日)	コメット	-	上 1.41 下 0.14	根 0.19 葉 1.45	根 0.5 葉 5
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 105 日)	コメット	-	上 1.96 下 0.01,<0.01	根 0.10 葉 0.85	
H23	熊本県 農業研 究センタ ー	スレックス水和 剤 (50%) 1,000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理 40 日)	アトラス	4.04	上 2.00 下 1.90	0.02	5
				ハウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 63 日)	アトラス		上 1.88 下 1.92	<0.01 (n.d.)	
				コマツナ(早期区) (薬剤処理 40 日)	楽天		上 2.00 下 1.90	0.03	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 55 日)	楽天		上 1.88 下 1.92	<0.01 (n.d.)	
				コネギ(早期区) (薬剤処理 80 日)	鴨頭ねぎ		上 2.00 下 1.90	0.05	5
				コネギ(遅延区) (薬剤処理 63 日)	鴨頭ねぎ		上 1.88 下 1.92	<0.01 (n.d.)	

表 3-16 (2) プロシミドンの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終 散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H23	長野県農業試験場	スミレックス水和剤(50%) 1,000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理 56日)	オータム	上 1.77 下 0.40	上 0.36	<0.01 (n.d.)	5
				ハウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 125日)	オータム		下 0.27	<0.01 (n.d.)	
				コマツナ(早期区) (薬剤処理 40日)	照彩		上 0.25	<0.01 (n.d.)	5
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 125日)	照彩		下 0.38	0.01	
				リーフレタス(早期区) (薬剤処理 55日)	アーリー インパルス		上 0.36	<0.01 (n.d.)	5
				リーフレタス(遅延区) (薬剤処理 117日)	アーリー インパルス		下 0.29	<0.01 (n.d.)	
H22	栃木県農業試験場	スミレックス水和剤(50%) 1000倍 300L/10a	なし	コマツナ 露地	照彩	2.45	3.96	0.11	5
				ハウレンソウ 露地	アトラス	2.87	3.97	0.03	5
H21	埼玉県農林総合研究センター	スミレックス水和剤(50%) 1000倍 100L/10a	ナス	シュンギク露地 (早期区・マルチ)	おきく3号	-	0.18	0.02	5
				シュンギク露地 (遅延区・マルチ)	おきく3号	-	0.12	0.01	
				シュンギク露地 (遅延区・無被覆)	おきく3号	-	0.12	0.06	
H21	栃木県農業試験場	スミレックス水和剤(50%) 2000倍 150L/10a	トマト	シュンギク施設 (早期区)	きわめ中葉	1.19	0.48	0.02	5
				シュンギク施設 (遅延区)	きわめ中葉	1.19	0.36	0.01	

※1： 後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す。

表 3-17(1) ホスチアゼートの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効 成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H24	宮城県 農業・園芸 総合 研究所	ネマトリン エース粒剤 (1.5%) 20kg/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 49 日)	夏はくれい	-	上 1.60 下 0.02	根 0.03 葉 0.03	根 0.2 葉 0.1
				カブ(遅延区) (薬剤処理 87 日)	夏はくれい	-	上 0.49 下 0.04	根 0.02 葉 0.03	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 41 日)	雪小町	-	上 1.60 下 0.02	根 0.30 葉 0.58	根 0.2 葉 0.2
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 81 日)	雪小町	-	上 0.49 下 0.04	根 0.06 葉 0.03	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 41 日)	紅ほほ丸	-	上 1.60 下 0.02	葉 0.80	根 0.2 葉 0.2
H24	栃木県 農業試 験場	ネマトリン エース粒剤 (1.5%) 20kg/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 52 日)	耐病ひかり	-	(0~20cm) 0.32	根 <0.01 葉 0.02	根 0.2 葉 0.1
				カブ(遅延区) (薬剤処理 100 日)	耐病ひかり	-	(0~20cm) 0.08	根 <0.01 葉 <0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 126 日)	向陽二号	-	(0~20cm) 0.32	根 <0.01 葉 0.01	根 0.2 葉 0.1 ^{※3}
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 175 日)	向陽二号	-	(0~20cm) 0.08	根 <0.01 葉 <0.01	
H24	熊本県 農業研 究センタ ー	ネマトリン エース粒剤 (1.5%) 20kg/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 54 日)	耐病ひかり	-	上 0.62 下 0.42	根 <0.01 葉 <0.01(0.005)	根 0.2 葉 0.1
				カブ(遅延区) (薬剤処理 84 日)	耐病ひかり	-	上 0.06 下 0.04	根 <0.01 葉 <0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 104 日)	愛紅	-	(0~20cm) 1.26	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.2 葉 0.1 ^{※3}
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 120 日)	愛紅	-	(0~20cm) 0.32	根 <0.01 葉 <0.01	
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 39 日)	さくらんぼ	-	上 0.62 下 0.42	根 <0.01(0.006) 葉 <0.01(0.007)	根 0.2 葉 0.2
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 112 日)	さくらんぼ	-	上 0.06 下 0.04	根 <0.01 葉 <0.01	
H23	兵庫県 立農林 水産技 術総合セ ンター	ネマトリン エース粒剤 (1.5%) 20kg/10a	なし	チンゲンサイ(早期区) (薬剤処理 39 日)		-	上 1.61 下 0.10	0.06	0.1
				チンゲンサイ(遅延区) (薬剤処理 87 日)		-	上 0.36 下 0.07	<0.01 (n.d.)	
				コマツナ(早期区) (薬剤処理 43 日)		-	上 1.42 下 0.10	0.03	0.1
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 101 日)		-	上 0.38 下 <0.01(0.008)	<0.01 (n.d.)	
				シュンギク(早期区) (薬剤処理 52 日)		-	上 2.34 下 0.10	0.48	0.1
				シュンギク(遅延区) (薬剤処理 87 日)		-	上 0.22 下 <0.01(0.007)	0.01	

表 3-17(2) ホスチアゼートの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)					
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物	品 種	最終 散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度				
H23	千葉県農 林総合研 究センタ ー	ネマトリンエ ース粒剤 (1.5%) 20kg/10a	なし	ハツカダイコン(葉) (早期区)(薬剤処理 47 日)	ほほべに丸	-	上 1.29 下 0.280	0.06	根 0.2 葉 0.2				
				ハツカダイコン(葉) (遅延区)(薬剤処理 98 日)	レッド チャイム	-	上 0.036 下 0.052			<0.01 (0.002)			
				ハツカダイコン(根) (早期区)(薬剤処理 47 日)	ほほべに丸	-	上 1.29 下 0.280	0.009					
				ハツカダイコン(根) (遅延区)(薬剤処理 98 日)	レッド チャイム	-	上 0.036 下 0.052	<0.005 (0.002)					
				コカブ(葉)(早期区) (薬剤処理 55 日)	夏の雪	-	上 1.29 下 0.280	<0.01 (0.006)	根 0.2 葉 0.1				
				コカブ(葉)(遅延区) (薬剤処理 109 日)	CR 白涼	-	上 0.036 下 0.052	<0.01 (0.002)					
				コカブ(根)(早期区) (薬剤処理 55 日)	夏の雪	-	上 1.29 下 0.280	<0.005 (0.002)					
H23	栃木県農 業試験場	ネマトリンエ ース粒剤 (1.5%) 20kg/10a	なし	シュンギク(早期区) (薬剤処理 81 日)		-	上 0.27 下 0.23	0.01	0.1				
				シュンギク(遅延区) (薬剤処理 168 日)		-	上 0.08 下 0.10	0.02					
				ミズナ(早期区) (薬剤処理 61 日)		-	上 0.37 下 0.27	<0.01	0.1				
				ミズナ(遅延区) (薬剤処理 168 日)		-	上 0.06 下 0.07	<0.01					
				ハウレンソウ(早期区) (薬剤処理 91 日)		-	上 0.35 下 0.41	<0.01	0.1				
				ハウレンソウ(遅延区) (薬剤処理 168 日)		-	上 0.04 下 0.04	<0.01					
H22	岐阜県農 業技術セ ンター	ネマトリンエ ース粒剤 (1.5%) 20kg/10a	なし	コマツナ 露地	さおり	2.66	0.02	<0.01	0.1				
				ハウレンソウ 露地	クロノス			<0.01	0.1				
				カブ 露地	白盃			葉<0.01 根<0.01	葉 0.1 根 0.2				
H22	埼玉県農 林総合研 究センタ ー	ネマトリンエ ース粒剤 (1.5%) 25kg/10a	なし	シュンギク トンネル栽培	おきく 3 号	0.60*	0.02*	0.06*	0.1				
				非結球レタス トンネル栽培	リバー グリーン	1.38*	0.03*	<0.01*	0.1				
H21	奈良県農 業総合セ ンター	ネマトリンエ ース粒剤(1.5%) 20kg/10a + ガードホープ 液剤 (30.0%) 4000 倍 200L/10a	ト マ ト	キュウリ (耕耘あり)	V ロード	3.09	0.45	<0.01	0.2				
				キュウリ (耕耘なし)	V ロード	4.24	0.25	<0.01					
H21	栃木県農 業試験場	ネマトリンエ ース粒剤(1.5%) 20kg/10a	ト マ ト	シュンギク(早期区)	きわめ中葉	3.86	0.14	0.08	0.1				
				シュンギク(遅延区)	きわめ中葉	3.86	0.05	0.02					
H20	熊本県農 業研究セ ンター	ネマトリン粒剤・ アオバ液剤 (1%、30%) 20kg/10a 4000 倍 200L/10a	メ ロ ン	ハウレンソウ (耕耘区)		2.64	0.29	0.02	0.1				
				ハウレンソウ (不耕耘)		2.64	0.29	0.014					

表 3-17(3) ホスチアゼートの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前 作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			作付け時 (は種時) 濃度
H20	高知県農業 技術センター	ネマトリンエース粒剤 (1.5%)20kg/10a	キュウリ	メロン	雅春秋系	-	0.49	<0.005	0.5
H20	埼玉県 農林総合研 究センター	ネマトリンエース粒剤 (1.5%)20kg/10a	ナス	シュンギク(早期区)	おきく3号	1.38	0.01	<0.01	0.1
				シュンギク(遅延区)	おきく3号	1.73	0.01	<0.01	
H18	東京都 農林総合研 究センター	ホスチアゼート粒剤 (1.5%)20kg/10a	キュウリ	コマツナ	夏楽天	-	0.18	<0.01	0.1
H15	日本植物防 疫協会	ホスチアゼート粒剤・ 液剤(15.3%) 0kg/10a 4000倍・ 2000l/10a	なし	メロン		-	-	0.042	0.2

※1：後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す。

*：参考データ

表 3-18 ミクロブタニルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終散 布処理 後濃度			は種時 濃度
H24	奈良県農業総合センター	ラリー水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 50日)	耐病ひかり	-	上 0.16 下 0.02	根 <0.01 葉 <0.01	0.01 (一律基準)
				カブ(遅延区) (薬剤処理 105日)	耐病ひかり	-	上 0.19 下 0.01 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 50日)	コメット	-	上 0.16 下 0.02	根 <0.01 葉 <0.01	0.01 (一律基準)
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 105日)	コメット	-	上 0.19 下 0.01 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01	
H24	高知県農業技術センター	ラリー水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 49日)	スワン	-	上 0.16 下 0.18	根 <0.01 葉 <0.01	0.01 (一律基準)
				カブ(遅延区) (薬剤処理 74日)	スワン	-	上 0.09 下 0.09	根 <0.01 葉 <0.01	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 32日)	コメット	-	上 0.16 下 0.18	根 <0.01 葉 <0.01	0.01 (一律基準)
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 50日)	コメット	-	上 0.09 下 0.09	根 <0.01 葉 <0.01	
H23	香川県農業試験場	ラリー水和剤 (10%) 2000倍 300L/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理 32日)	楽天	-	0.16	0.01	0.03 ^{※3}
				コマツナ(遅延区) (薬剤処理 92日)	楽天	-	0.10	0.004	
				チンゲンサイ(早期区) (薬剤処理 37日)	青帝	-	0.16	<0.01 (0.002)	1
				チンゲンサイ(遅延区) (薬剤処理 58日)	青帝	-	0.10	<0.01	
				ハウレンソウ(早期区)(薬剤処理 42日)	おかめ	-	0.16	<0.01	1
				ハウレンソウ(遅延区)(薬剤処理 108日)	おかめ	-	0.10	<0.01	
H21	日本植物防疫協会	ラリー乳剤 (25.0%) 3000倍 300L/10a	裸地	コマツナ 露地 (薬剤処理 30日)	楽天	0.99	0.28	0.01	0.03 ^{※2}
				コマツナ 露地 (薬剤処理 58日)	楽天	0.99	0.20	<0.01	
				コマツナ 露地 (薬剤処理 90日)	楽天	0.99	0.14	<0.01	
				カブ 露地 (薬剤処理 30日)	スワン	0.99	0.28	葉<0.01 根<0.01	葉 0.03 ^{※2} 根 0.03 ^{※2}
				カブ 露地 (薬剤処理 58日)	スワン	0.99	0.20	葉<0.01 根<0.01	
				カブ 露地 (薬剤処理 90日)	スワン	0.99	0.14	葉<0.01 根<0.01	
H19	高知県農業技術センター	ラリー水和剤 (10%) 4000倍 300L/10a	キュウリ	メロン	雅夏系	-	0.14	<0.01	1
H18	香川県農業試験場	ラリー乳剤 (25%) 18.8g/10a	ネギ	リーフレタス	グリーンウエーブ	-	0.13	0.005	0.03 ^{※2}

※1：後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す。

※2：平成24年12月28日告示により、現在の基準値は9(レタス(サラダ菜及びちしやを含む。))、0.01(一律基準)である。

表 3-19(1) メタラキシルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度 (mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終散 布処理 後濃度			は種時 濃度
H24	宮城県農業・園芸総合研究所	リドミル粒剤 2 (2%) 6kg/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 49 日)	夏はくれい	-	上 1.22 下 0.01	根 0.03 葉 0.02	根 0.3 葉 0.3
				カブ(遅延区) (薬剤処理 87 日)	夏はくれい	-	上 0.56 下 0.06	根 0.05 葉 0.03	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 41 日)	雪小町	-	上 1.22 下 0.01	根 0.07 葉 1.38	根 0.2 葉 0.2
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 81 日)	雪小町	-	上 0.56 下 0.06	根 0.04 葉 0.07	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 41 日)	紅ほほ丸	-	上 1.22 下 0.01	葉 0.68	
H24	栃木県農業試験場	リドミル粒剤 2 (2%) 6kg/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 52 日)	耐病ひかり	-	(0~20cm) 0.80	根 0.03 葉 0.03	根 0.3 葉 0.3
				カブ(遅延区) (薬剤処理 100 日)	耐病ひかり	-	(0~20cm) 0.33	根 0.01 葉 <0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 126 日)	向陽二号	-	(0~20cm) 0.80	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.05 ^{※3} 葉 1 ^{※4}
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 175 日)	向陽二号	-	(0~20cm) 0.33	根 <0.01 葉 <0.01	
H24	熊本県農業研究センター	リドミル粒剤 2 (2%) 6kg/10a	なし	カブ(早期区) (薬剤処理 54 日)	耐病ひかり	-	上 0.90 下 0.68	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.3 葉 0.3
				カブ(遅延区) (薬剤処理 138 日)	耐病ひかり	-	上 0.45 下 0.25	根 0.03 葉 0.01	
				ニンジン(早期区) (薬剤処理 104 日)	愛紅	-	(0~20cm) 0.92	根 <0.01 葉 <0.01	根 0.05 ^{※3} 葉 1 ^{※4}
				ニンジン(遅延区) (薬剤処理 120 日)	愛紅	-	(0~20cm) 0.44	根 <0.01 葉 <0.01	
				ハツカダイコン(早期区) (薬剤処理 39 日)	さくらんぼ	-	上 0.90 下 0.68	根 0.01 葉 0.04	根 0.2 葉 0.2
				ハツカダイコン(遅延区) (薬剤処理 112 日)	さくらんぼ	-	上 0.45 下 0.25	根 0.05 葉 0.01	
H23	東京都農林総合研究センター	リドミル粒剤 2 (2%) 6kg/10a	なし	ダイコン(早期区) (薬剤処理 71 日)	夏みの 早生三号	2.62	0.21	0.01	根 0.2 葉 0.2
				ダイコン(遅延区) (薬剤処理 122 日)	夏みの 早生三号	1.11	0.10	<0.01 (n.d.)	
				カブ(葉)(早期区) (薬剤処理 57 日)	白馬	0.99	0.17	0.01	根 0.3 葉 0.3
				カブ(葉)(遅延区) (薬剤処理 122 日)	白馬	0.95	0.09	0.01	
				カブ(根)(早期区) (薬剤処理 57 日)	白馬	0.99	0.17	0.01	
				カブ(根)(遅延区) (薬剤処理 122 日)	白馬	0.95	0.09	0.01	
				H23	埼玉県農林総合研究センター	リドミル粒剤 2 (2%) 6kg/10a	なし	コマツナ(早期区) (薬剤処理 14 日)	夏楽天
コマツナ(遅延区) (薬剤処理 60 日)	夏楽天	0.10	<0.01 (n.d.)						
シュンギク(早期区) (薬剤処理 14 日)	強力オーライ	0.17	0.01					0.01 ^{※3} (一律基準)	
シュンギク(遅延区) (薬剤処理 60 日)	強力オーライ	0.09	0.01						
ホウレンソウ(早期区)(薬剤処理 14 日)	大場春菊	0.17	0.01					2	
ホウレンソウ(遅延区)(薬剤処理 60 日)	大場春菊	0.09	0.01						

表 3-19(2) メタラキシルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
			前作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度	は種時 濃度		
H22	熊本県農業研究センター	リドミルMZ水和剤 (10%) 1000倍×3回 300L/10a	なし	ハウレンソウ 露地	アトラス	0.77	0.47	0.01	2
				コマツナ 露地	楽天	0.77	0.27	0.02	2 ^{**2}
				非結球レタス 露地	晩抽レッドファイヤー	0.82	0.32	0.01	2
H22	青森県農林総合研究センター	リドミルMZ水和剤 (10%) 1000倍 300L/10a	なし	コマツナ	河北小松菜	0.92	0.52	0.07	2 ^{**2}
				チンゲンサイ	遼東チンゲンサイ	0.92	0.61	0.04	2
				ハウレンソウ	サマービクトリー	0.92	0.53	0.01	2
H22	宮城県農業・園芸総合研究所	リドミルMZ水和剤 (10%) 1000倍×3回 300L/10a	なし	ハウレンソウ 露地(火山灰)	サイクロン	0.95	0.94	0.03	2
				ハウレンソウ 露地(沖積土)	サイクロン	0.53	0.39	0.04	
				コマツナ 露地(火山灰)	まさみ	0.95	0.94	0.02	2 ^{**2}
				コマツナ 露地(沖積土)	まさみ	0.53	0.39	0.25	
H22	高知県農業技術センター	リドミルMZ水和剤 (10%) 1000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ 露地	アトラス	0.77	0.47	0.01	2 ^{**2}
				コマツナ 露地	楽天	0.77	0.27	0.02	2
				非結球レタス 露地	晩抽レッドファイヤー	0.82	0.32	0.01	2
H22	島根県農業技術センター	リドミルMZ水和剤 (10%) 1000倍 300L/10a	なし	コマツナ	夏楽天	0.64	0.51	0.06	2 ^{**2}
				シュンギク	大葉	0.53	0.36	0.13	2 ^{**2}
				コネギ	鴨頭	0.40	0.23	<0.01	2 ^{**2}
				ハウレンソウ	トラッド	0.69	0.34	0.02	2
H22	岐阜県農業技術センター	リドミル粒剤(2%) 10kg/10a	なし	コマツナ 露地	さおり	3.56	1.27	0.06	2 ^{**2}
				ハウレンソウ露地	クロノス			<0.01	2
				カブ露地	白盃			葉 0.08 根 0.03	葉 2 ^{**2} 根 2 ^{**2}
H21	日本植物防疫協会	リドミル粒剤(2%) 20kg/10a	裸地	コマツナ 露地 (薬剤処理 30日)	楽天	16.6	0.30	0.25	2 ^{**2}
				コマツナ 露地 (薬剤処理 58日)	楽天	16.6	0.06	0.13	
				コマツナ 露地 (薬剤処理 90日)	楽天	16.6	0.02	0.03	
				カブ 露地 (薬剤処理 30日)	スワン	16.6	0.30	葉 0.53 根 0.24	葉 2 ^{**2} 根 2 ^{**2}
				カブ 露地 (薬剤処理 58日)	スワン	16.6	0.06	葉 0.14 根 0.09	
				カブ 露地 (薬剤処理 90日)	スワン	16.6	0.02	葉 0.03 根 0.03	
H21	宮城県農業・園芸総合研究所	リドミル粒剤 2 (2%) 10kg/10a	コマツナ	ミズナ	京みぞれ	1.43	0.55	0.09	2 ^{**2}

表 3-19 (3) メタラキシルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件			土壌濃度(mg/kg)		後作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・ 処理量	前作物	供試作物	品種	最終散布 処理後 濃度			は種時 濃度
H20	日本植物 防疫協会	リドミル粒剤 2(2%) 20kg/10a	裸地	ホウレンソウ (薬剤処理 14 日)	オーライ	21.0	0.85	0.21	2
				ホウレンソウ (薬剤処理 28 日)	オーライ	21.0	0.32	0.05	
				ホウレンソウ (薬剤処理 42 日)	オーライ	21.0	0.24	0.02	
				ホウレンソウ (薬剤処理 58 日)	オーライ	21.0	0.11	0.02	
H20	高知県農 業技術セン ター	リドミルMZ 水和剤 (10%) 1000 倍 300 L/10a	キュウ リ	メロン	雅春秋系	-	0.25	<0.01	1 ^{※2}
H20	兵庫 県 農 林 水 産 技 術 総 合 セ ン タ ー	リドミル粒剤 2(2%) 9kg/10a	ホウ レン ソウ	葉ダイコン(耕起区)	栄葉	1.72	0.10	<0.02	2 ^{※2}
				葉ダイコン(不耕起)	栄葉	1.72	0.14	<0.02	
H20	宮城県農 業・園芸総 合研究所	リドミル粒剤 2(2%) 6kg/10a	ホウ レン ソウ	コマツナ	まさみ	1.91	0.3	<0.01	2 ^{※2}
H19	日本植物 防疫協会	リドミル粒剤 2(2%) 3g/株	ピー マン	ホウレンソウ(耕起区)	マグワイヤー	7.40	2.52	0.04	2
				ホウレンソウ(不耕起)	マグワイヤー	6.20	4.34	0.04	
H19	香川県農 業試験場	リドミルMZ 水和剤 (10%)1000 倍 300L/10a	ネギ	ホウレンソウ	強力 オーライ	0.847	0.100	0.005	2
H18	高知県農 業技術セン ター	リドミルMZ 水和剤 (10%)1000 倍×3回 300L/10a	キュウ リ	ナス	春鈴	-	0.26	<0.01	2 ^{※2}

※1： 後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す。

※2： 平成 24 年 11 月 2 日告示により、現在の基準値は 1（こまつな）、4（しゅんぎく）、0.2（ねぎ（リーキを含む。）、0.3（かぶ類の根）、0.3（かぶ類の葉）、0.7（その他あぶらな科野菜）、0.7（メロン類果実）、0.2（だいこん類の葉）、1（なす）である。

3-5 農薬散布量による影響

今年度の調査対象となっている農薬について、慣行と異なる農薬残布量での影響試験における検出状況は表 3-20～表 3-22 に整理したとおりである。

トルクロホスメチル、フルトラニルについては1/10濃度区において作物から検出されなかったが、1/2濃度区において作物から検出されており、初期土壌濃度がある程度以上になると残留リスクが高まると考えられた。また、プロシミドンでは1/10濃度区においてもコマツナおよびかぶ葉部から検出され、土壌中濃度0.1mg/kg以下でも後作物残留リスクを有している可能性があるものと推察された。

表 3-20 トルクロホスメチルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件		土壌濃度 (mg/kg)	作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物			
H22	日本植物防疫協会	リゾレックス 水和剤(50%) 5000倍～100倍 3000L/10a	コマツナ	-	<0.01	2
			1/10濃度	1.22	0.02	
			コマツナ	-	0.11	
			1/2濃度	6.90	0.07	
			コマツナ	-	<0.01	
			慣行濃度	13.9	<0.01	
			コマツナ	-	<0.01	葉2 根2
			5倍濃度	78.1	0.01	
			カブ	-	<0.01	
			1/10濃度	1.22	<0.01	
			カブ	-	<0.01	
			1/2濃度	6.90	0.01	
カブ	-	<0.01	葉0.02 根0.06			
慣行濃度	13.9	0.02				
カブ	-	0.02				
5倍濃度	78.1	0.06				

※ 後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

表 3-21 フルトラニルの過年度の検出状況

年度	調査実施機関	試験条件		土壌濃度 (mg/kg)	作物 残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物			
H22	日本植物防疫協会	モンカットフロアブル (40%) 10000倍～200倍 300L/10a	コマツナ	-	<0.01	1
			1/10濃度	0.45	0.29	
			コマツナ	-	1.06	
			1/2濃度	3.92	0.15	
			コマツナ	-	<0.01	
			慣行濃度	8.31	<0.01	
			コマツナ	-	<0.01	葉2 根2
			5倍濃度	39.8	<0.01	
			カブ	-	<0.01	
			1/10濃度	0.45	<0.01	
			カブ	-	<0.01	
			1/2濃度	3.92	<0.01	
カブ	-	0.02	葉0.02 根0.02			
慣行濃度	8.32	0.02				
カブ	-	0.09				
5倍濃度	39.8	0.07				

※ 後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

表 3-22 プロシミドンの過年度の検出状況

年度	調査実施 機関	試 験 条 件		土 壌 濃 度 (mg/kg)	作 物 残 留 濃 度 (mg/kg)	残 留 基 準 値 (mg/kg)	
		供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物				
H22	日本植物防疫 協会	スミレックス水和剤(50%) 10000 倍～200 倍 300L/10a	コマツナ	-	0.16	5	
			1/10 濃度	0.10			
			コマツナ	-	0.34		
			1/2 濃度	0.42			
			コマツナ	-	0.63		
			慣行濃度	0.73			
			コマツナ	-	0.79		
			5 倍濃度	3.72			
			カブ	-	葉 0.03	葉 5 根 0.5	
			1/10 濃度	0.10	根 < 0.01		
			カブ	-	葉 0.11		
			1/2 濃度	0.42	根 < 0.01		
			カブ	-	葉 0.19		
			慣行濃度	0.73	根 0.03		
カブ	-	葉 0.50					
5 倍濃度	3.72	根 0.12					

※ 後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

要 約

平成 25 年度農薬残留対策総合調査は、都道府県試験研究機関等の協力のもとで、以下の課題について調査が実施された。

1) 河川中農薬モニタリング調査：

6 機関により、河川における水田農薬の水中濃度の実態を調査した。

2) 後作物残留に係る調査：

16 機関により、後作物残留調査に供すべき代表作物を比較検討するとともに、土壌残留濃度が相当低下した場合における後作物への残留影響を調査した。

Summary

IDEA Consultants, Inc. conducted three categories of residual pesticide studies on crop protection products under cooperation with agricultural research administrations in 2013.

(i)Monitoring studies of pesticide in rivers: Six organizations carried out the monitoring.

(ii)Environmental fate studies of pesticides in crop land: Sixteen organizations selected and compared representative crops and carried out studies of residue effect on succeeding crop under substantially decreased soil residue concentration condition.

リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料「Aランク」のみを用いて作製しています。